

添付書類－３ 一般水底土砂が海洋投入処分以外に適切な処分の方法がないものであることを説明する書類

## 目 次

	頁
1. 一般水底土砂の発生する事業の概要及び必要性 .....	3-3
2. 海洋投入処分量の削減に関する取り組み .....	3-5
2.1. 浚渫量について .....	3-5
2.2. 海洋投入処分量の削減について .....	3-39
2.3. 海洋投入処分量の見通しなど .....	3-40

## 1. 一般水底土砂の発生する事業の概要及び必要性

三重県が管理する宇治山田港において一般水底土砂が発生する事業は、港湾改修事業における航路・泊地浚渫工事である。図 1.1 に宇治山田港の浚渫場所を示す。

宇治山田港は、伊勢湾に流れる五十鈴川・勢田川の河口に位置する地方港湾で、宮川本川の右岸下流端から二見浦の夫婦岩までを港湾区域とする河口港である。

往時は勢田川上流の河崎港、河口付近の神社港、大湊港からなり、全国各地からのお伊勢参りの客を乗せた船や、外来の物資を集散する様々な船が往来していた。

徳川時代の中期には、大湊、神社港は伊勢内陸の外港として、河崎港は住民と膨大な参宮者の生活消費物資を供給する問屋街として発達した。明治に入ると豊橋・蒲郡方面、神戸・大阪方面との航路が開かれ、さらなる発展を遂げた。

現在は、神社・大湊・一色・今一色・二見地区に大別され、特に神社地区の砂利・砂など建設用骨材取扱量は県下有数の規模を誇る。大湊地区は歴史をもった造船技術を営々と引き継ぐ中・小型船建造を主に、一色・今一色地区は、漁業の基地として、また二見地区は春や秋には観光客、夏は海水浴場の人々で賑わいを見せている。

本航路は、平成9年から13年度に航路(DL-3.5m)および泊地(DL-4.5m)浚渫が実施されているが、近年の津波による堆積や河口港という特性から洪水による堆積と徐々に埋塞が進行している。

このため、現在、主たる貨物でもある砂利・砂・石材等の運搬船が、満潮時においても50%の積載として航行の安全を確保している状態であるなど船舶の喫水制限や潮待ちによる入出港を余儀なくされており、非常に効率が悪く事故等の発生も懸念されることから、安全・安心を確保すべく早急な対策を講じるよう浚渫事業に対する要望も強い。

また、本港は漁港区としても利用されており、干潮時において漁船の安全航行が確保されておらず、漁業関係者より同様に早急な対策を講じるよう要望を受けている。

航路・泊地浚渫工事では、潮待ちによる船舶の待ち時間を解消し、船舶の入出港の安定化を図るとともに、座礁事故等から港湾利用者の安全を図るものである。

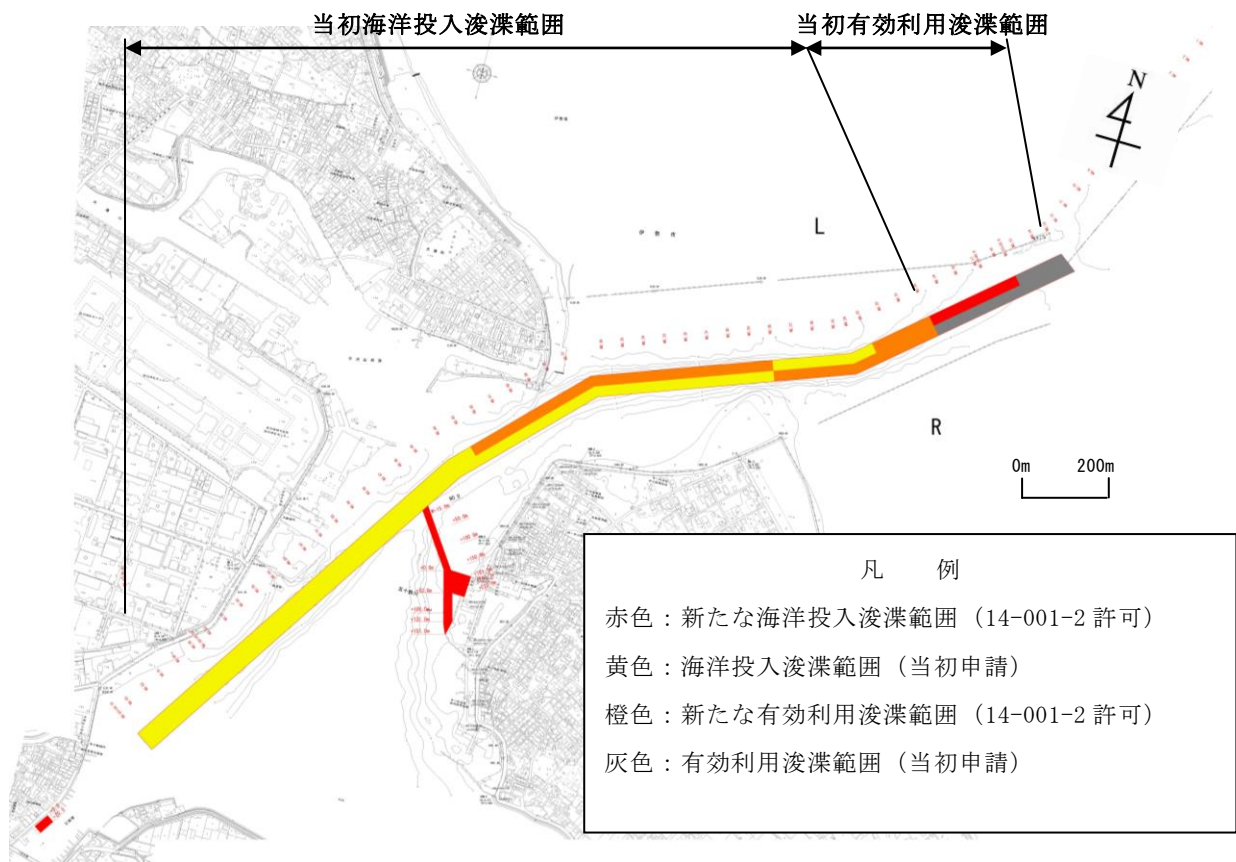


図 1.1 宇治山田港の浚渫場所

## 2. 海洋投入処分量の削減に関する取り組み

### 2.1. 浚渫量について

#### (1) 必要水深および必要航路幅について

宇治山田港の航路浚渫幅及び必要水深については、当初必要水深(DL-3.5m)、航路幅(50m)から変更なしである。

新たな浚渫場所の神社地区については、船舶を停泊させる棧橋間(20m×40m=800m<sup>2</sup>)の範囲を、泊地の管理水深 DL-2.0m を確保し浚渫を行うものとする。

また、今一色地区仮航路については、宇治山田港海岸侵食対策工事に使用する作業船の航行に必要な航路幅 15m、必要水深 DL-2.0m の範囲、仮航路から漁協基地への区間については船舶往來の安全確保のため航路幅 20m、必要水深 DL-2.0m の範囲の浚渫を行うものとする。

#### (2) 必要浚渫土量について

宇治山田港の航路において、50m 間隔での横断的な深浅測量を行っている。浚渫土砂量は、本測量結果をもとに算出した。浚渫土量は以下の条件により算出している。

- ・浚渫深は DL-3.5m である。
- ・浚渫幅は 50m である。
- ・底面余掘りは高さ 0.5m である。
- ・側面余掘りは幅 4.0m、勾配 1:2.0 である。

前回変更申請した浚渫場所については次の条件により算出している。

##### (神社地区)

棧橋間を 5m 間隔での横断的な深浅測量を行い、以下の条件により浚渫土砂量を算出している。

- ・浚渫深は DL-2.0m である。
- ・浚渫範囲は棧橋長さ 20m、棧橋間 40m である。
- ・底面・側面の余掘りは行わない。

##### (今一色地区)

仮航路を 50m 間隔での横断的な深浅測量を行い、以下の条件により浚渫土砂量を算出している。

- ・浚渫深は DL-2.0m である。
- ・浚渫幅は仮航路区間 15m、仮航路から漁協基地区間 20m である。
- ・底面及び側面余掘りは行わない。
- ・側面浚渫勾配は 1:2.0 である。

必要浚渫土量の算出資料は下記のとおりであり、必要浚渫土量は 171,000m<sup>3</sup> となる。

【当初申請 航路浚渫】

- ・平面図・・・図 2.1
- ・各横断図・・・図 2.2
- ・算定表・・・表 2.1 (算定表から必要浚渫土量 161,000m<sup>3</sup>)

【前回変更申請 航路浚渫】(H27.9.7 14-001-2 変更許可時点)

- ・平面図・・・図 2.3
- ・各横断図・・・図 2.4
- ・算定表・・・表 2.2 (算定表から必要浚渫土量 41,000+120,000=161,000m<sup>3</sup>)

【今回変更申請 航路浚渫】

- ・平面図・・・図 2.9 (各年次浚渫量変更)
- ・各横断図・・・図 2.4 (変更無し)
- ・算定表・・・表 2.5 161,000m<sup>3</sup> (各年次浚渫量変更)

【前回変更申請 神社地区】(H27.9.7 14-001-2 変更許可時点)

- ・平面図・・・図 2.5
- ・各横断図・・・図 2.6
- ・算定表・・・表 2.3 (算定表から必要浚渫土量 1,000m<sup>3</sup>)

【前回変更申請 今一色地区】(H27.9.7 14-001-2 変更許可時点)

- ・平面図・・・図 2.7
- ・各横断図・・・図 2.8
- ・算定表・・・表 2.4 (算定表から必要浚渫土量 9,000m<sup>3</sup>)

※今回変更申請では、神社地区、今一色地区について変更無し

当初申請必要浚渫量・・・161,000m<sup>3</sup>

前回変更申請必要浚渫量・・・161,000m<sup>3</sup>+1,000m<sup>3</sup>+9,000m<sup>3</sup>=171,000m<sup>3</sup>

今回変更申請必要浚渫量・・・161,000m<sup>3</sup>+1,000m<sup>3</sup>+9,000m<sup>3</sup>=171,000m<sup>3</sup>

表 2.1 必要浚渫量（当初申請時）

測点	距離 (m)	浚渫			各年次 浚渫土量
		断面積 (m <sup>2</sup> )	平均	体積 (m <sup>3</sup> )	
No. 13	-	79.0	-	-	1年次 有効利用 30,000m <sup>3</sup>
No. 14	50.00	86.2	82.60	4130.0	
No. 15	50.00	91.6	88.90	4445.0	
No. 16	50.00	93.8	92.70	4635.0	
No. 17	50.00	86.8	90.30	4515.0	
No. 18	50.00	81.1	83.95	4197.5	
No. 19	50.00	75.8	78.45	3922.5	
No. 20	50.00	73.3	74.55	3727.5	
No. 21	50.00	70.1	71.70	3585.0	
No. 22	50.00	69.1	69.60	3480.0	
No. 23	50.00	77.4	73.25	3662.5	
No. 24	50.00	57.7	67.55	3377.5	
No. 25	50.00	57.3	57.50	2875.0	
No. 26	50.00	44.8	51.05	2552.5	
No. 27	50.00	31.5	38.15	1907.5	
No. 28	50.00	14.4	22.95	1147.5	
No. 29	50.00	31.8	23.10	1155.0	
No. 30	50.00	29.9	30.85	1542.5	
No. 31	50.00	23.2	26.55	1327.5	
No. 32	50.00	19.0	21.10	1055.0	
No. 33	50.00	24.6	21.80	1090.0	
No. 34	50.00	20.7	22.65	1132.5	
No. 35	50.00	11.6	16.15	807.5	
No. 36	50.00	8.3	9.95	497.5	
No. 37	50.00	8.9	8.60	430.0	
No. 38	50.00	13.7	11.30	565.0	
No. 39	50.00	33.0	23.35	1167.5	2年次 海洋投入 44,000m <sup>3</sup>
No. 40	50.00	59.9	46.45	2322.5	
No. 41	50.00	63.1	61.50	3075.0	
No. 42	50.00	71.6	67.35	3367.5	
No. 43	50.00	89.6	80.60	4030.0	
No. 44	50.00	96.2	92.90	4645.0	
No. 45	50.00	94.4	95.30	4765.0	
No. 46	50.00	93.6	94.00	4700.0	
No. 47	50.00	136.7	115.15	5757.5	
No. 48	50.00	143.3	140.00	7000.0	
No. 49	50.00	142.7	143.00	7150.0	3年次 海洋投入 45,000m <sup>3</sup>
No. 50	50.00	114.7	128.70	6435.0	
No. 51	50.00	72.5	93.60	4680.0	
No. 52	50.00	54.0	63.25	3162.5	
No. 53	50.00	39.2	46.60	2330.0	
No. 54	50.00	44.3	41.75	2087.5	
No. 55	50.00	48.4	46.35	2317.5	
No. 56	50.00	66.7	57.55	2877.5	
No. 57	50.00	67.9	67.30	3365.0	
No. 58	50.00	68.8	68.35	3417.5	
No. 59	50.00	72.7	70.75	3537.5	
No. 60	50.00	72.3	72.50	3625.0	
No. 61	50.00	72.3	72.30	3615.0	
No. 62	50.00	72.3	72.30	3615.0	
No. 63	50.00	72.3	72.30	3615.0	
No. 63+34.10	34.10	72.3	72.30	2465.4	
合計	2534.10		161,000		

※ 合計値および各年次の浚渫土量は数字を丸めて記載してある。

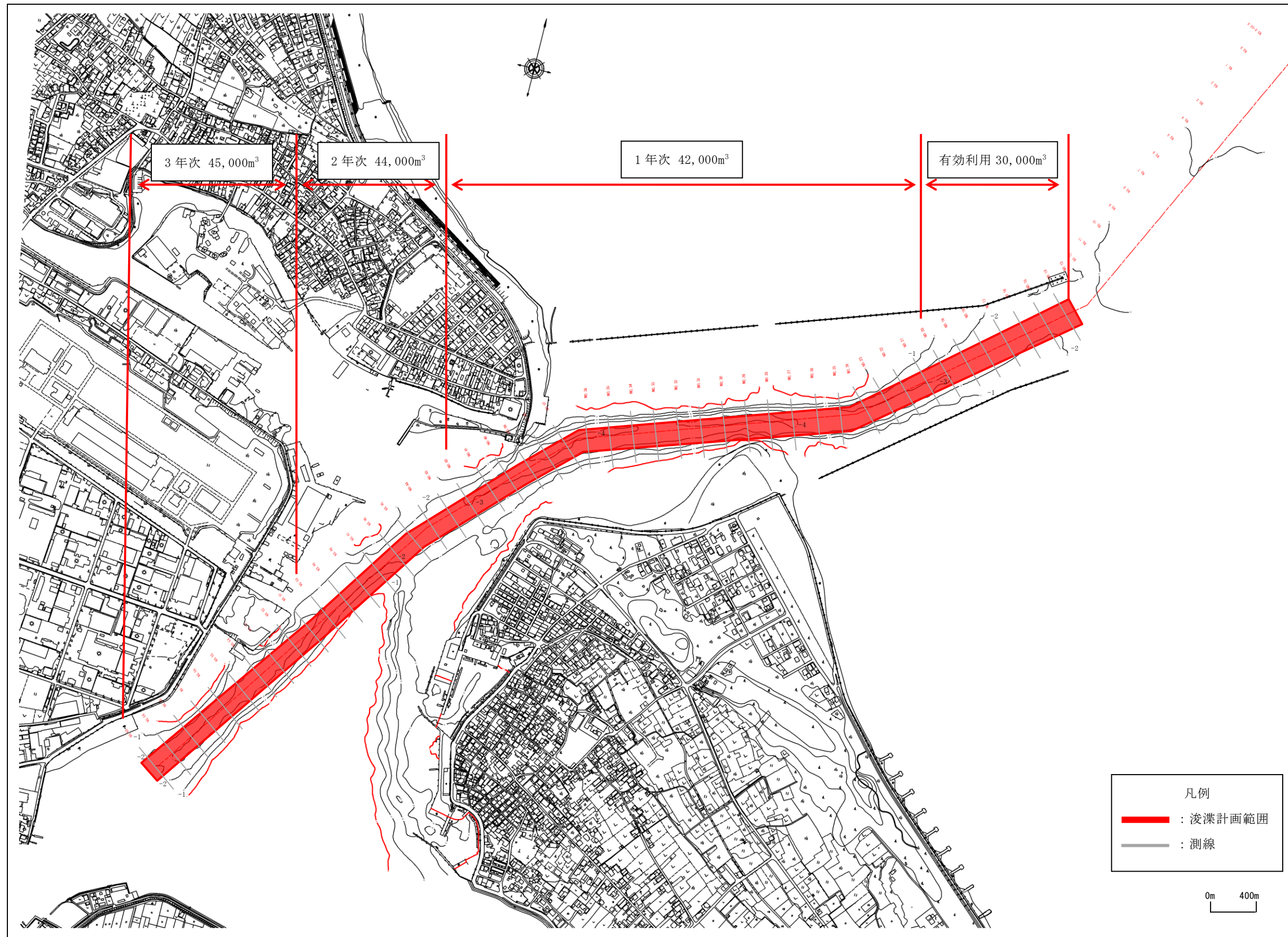
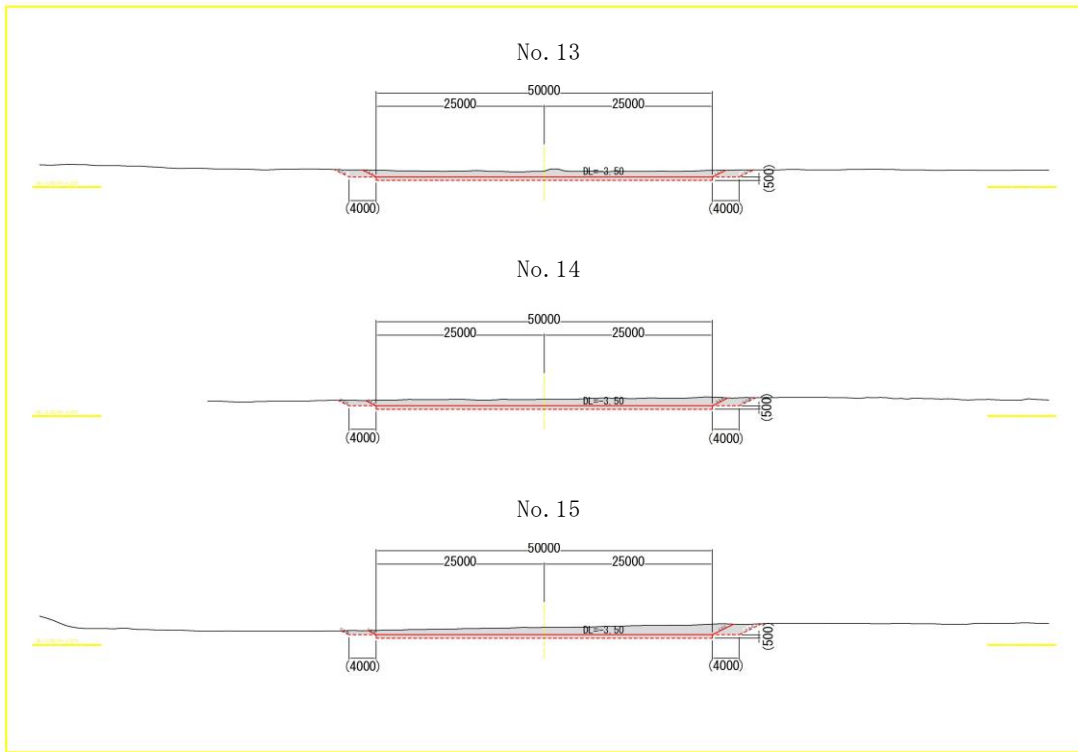


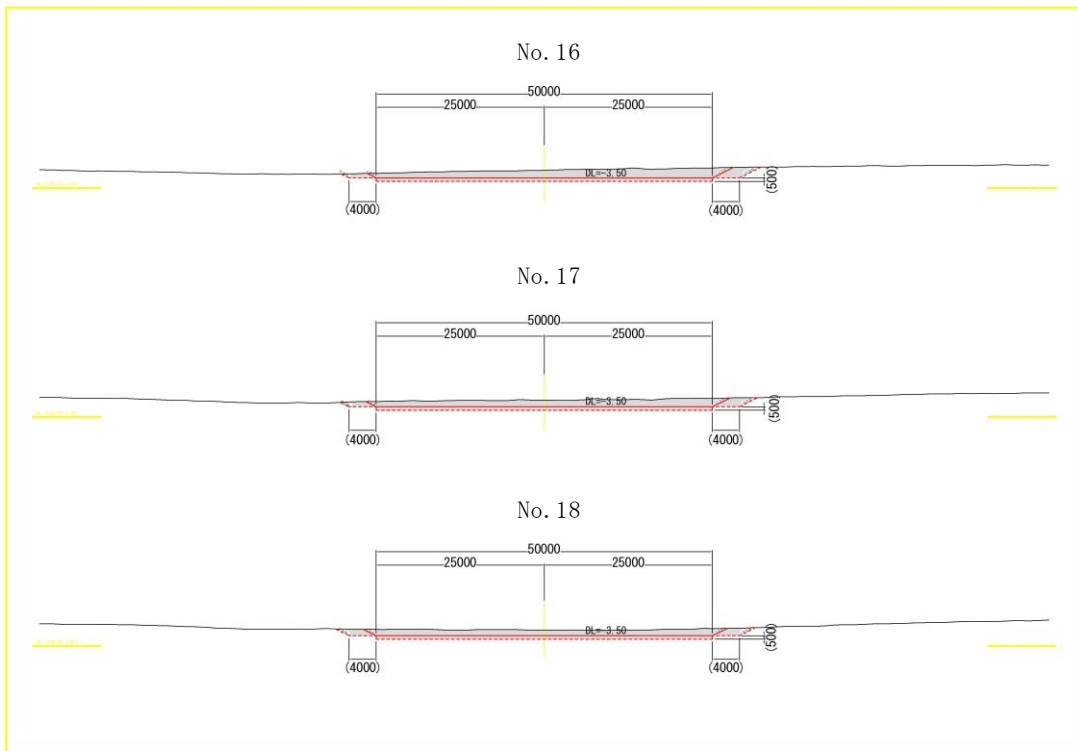
図 2.1 排水計画平面図（当初申請時）





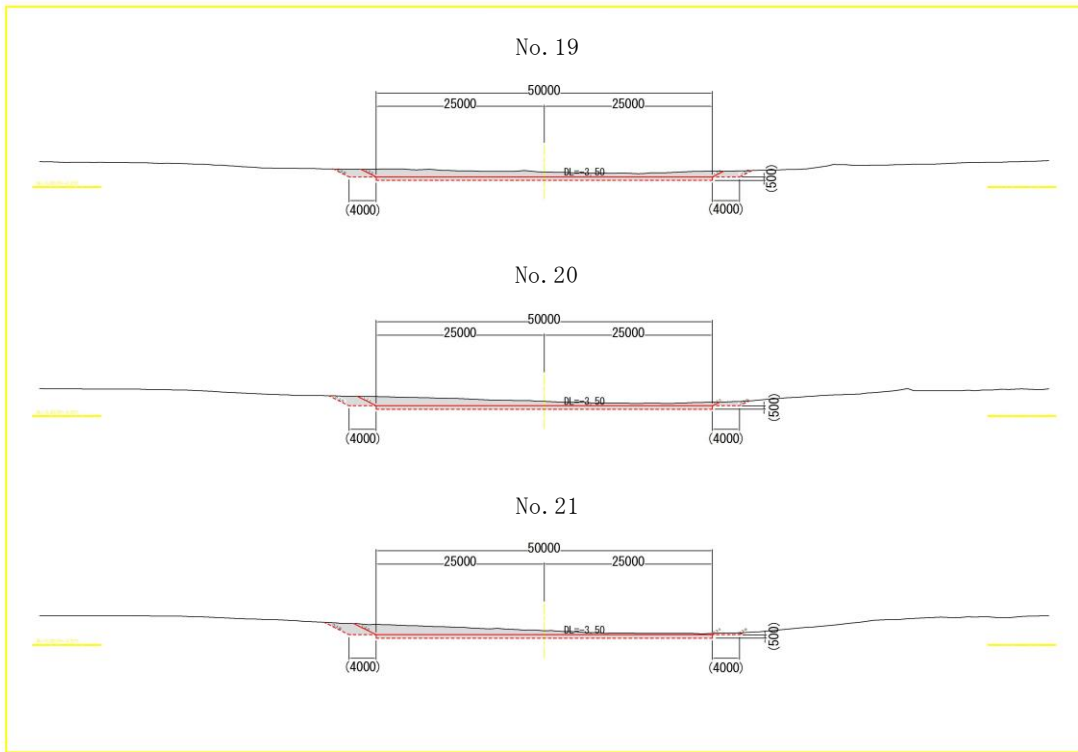
※港内側から港外側を望む

図 2.2(1) 浚渫計画断面図



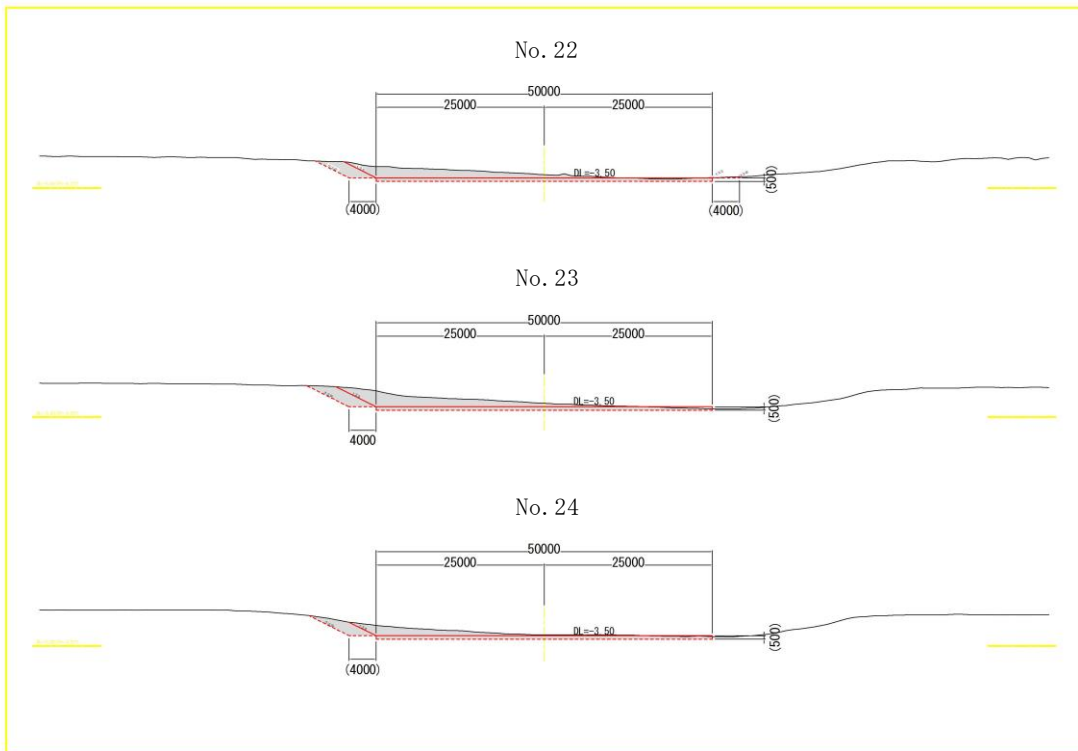
※港内側から港外側を望む

図 2.2(2) 浚渫計画断面図



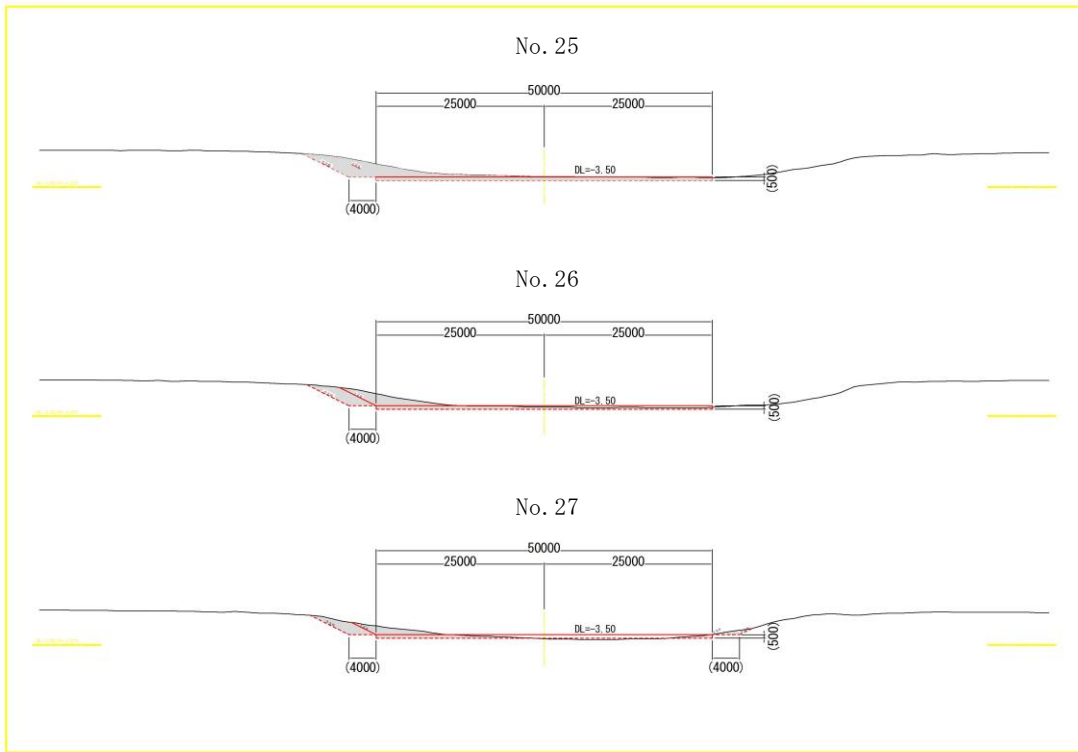
※港内側から港外側を望む

図 2.2(3) 浚渫計画断面図



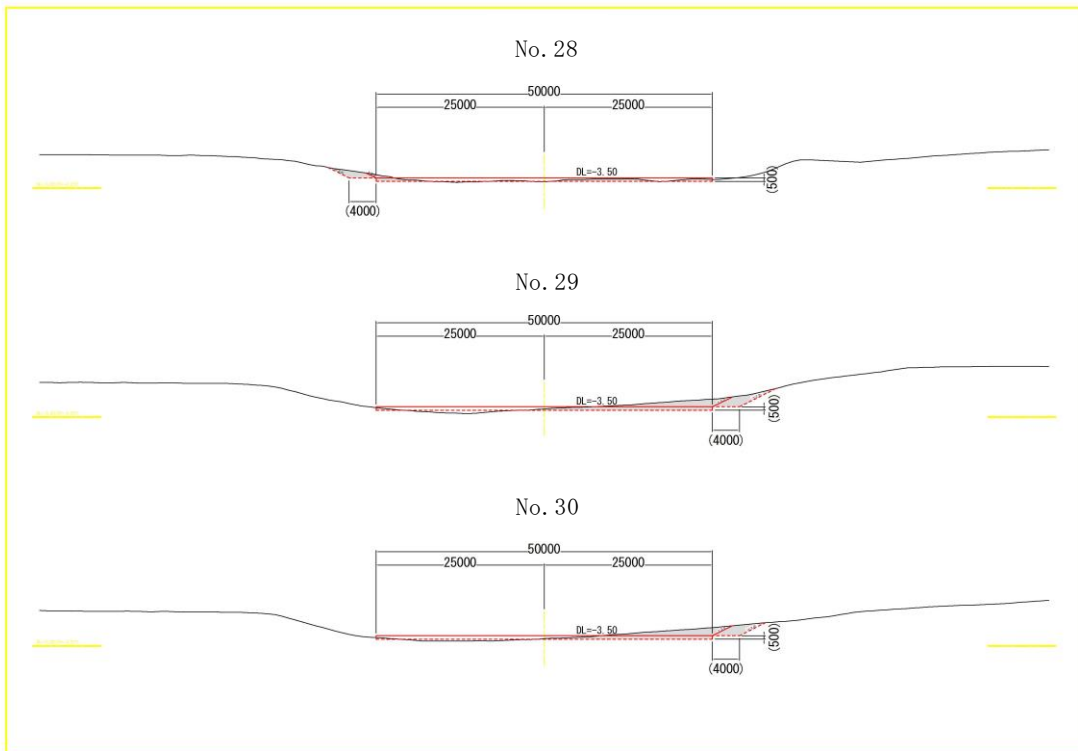
※港内側から港外側を望む

図 2.2(4) 浚渫計画断面図



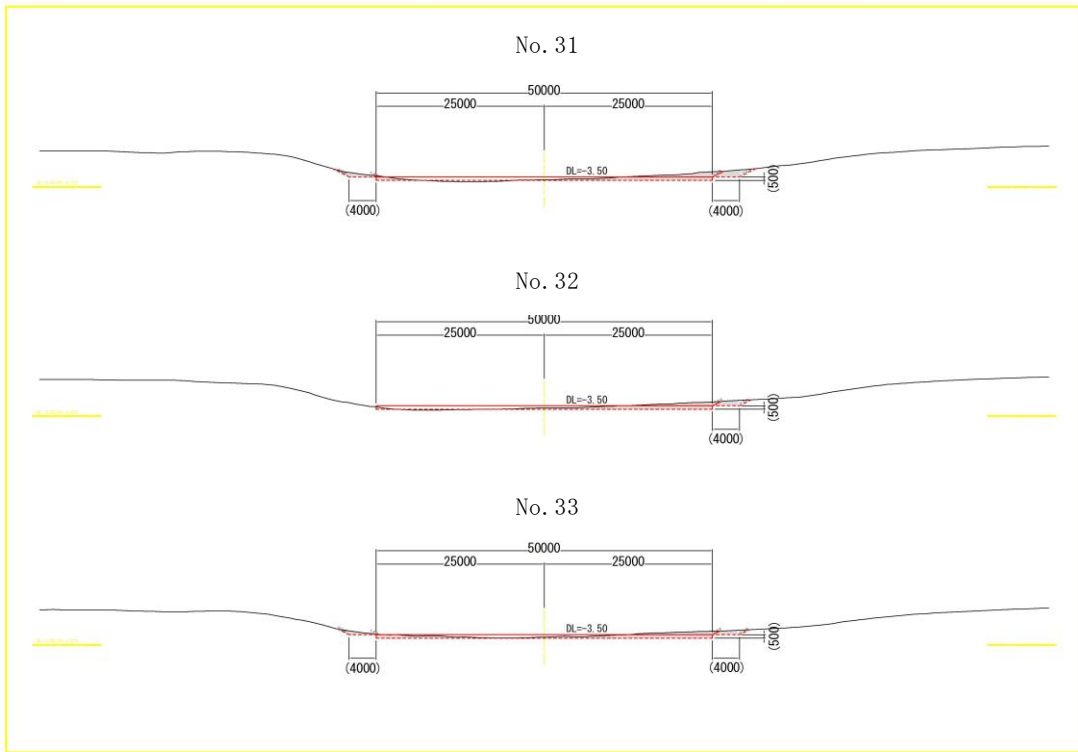
※港内側から港外側を望む

図 2-2 (5) 浚渫計画断面図



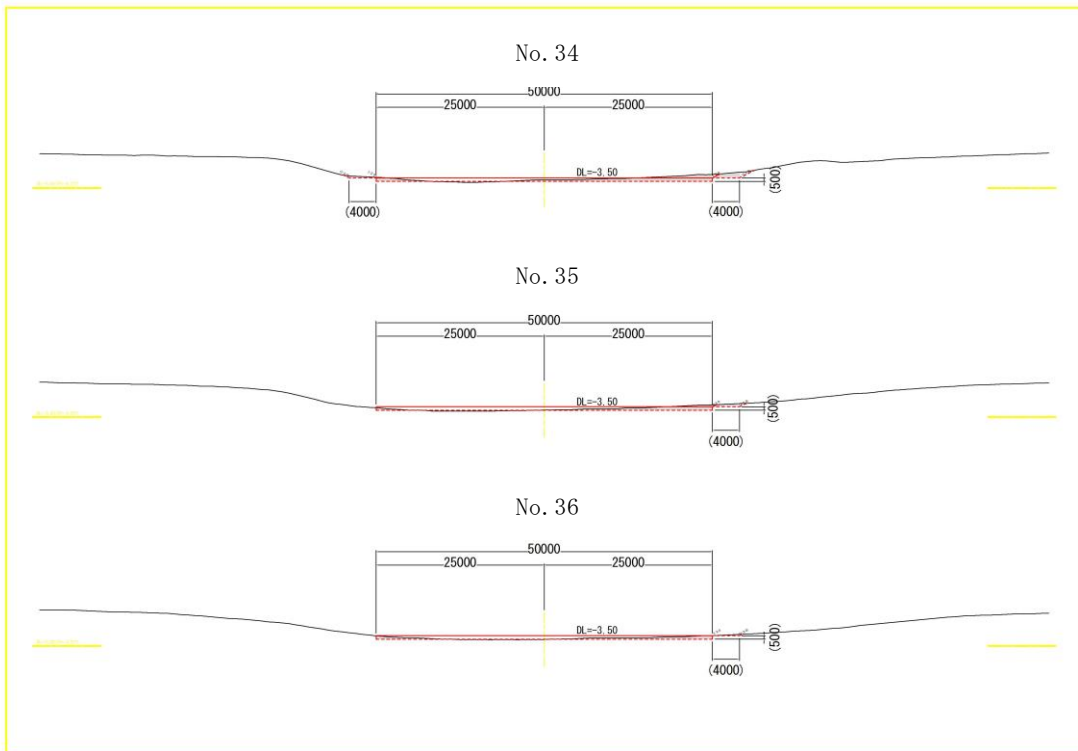
※港内側から港外側を望む

図 2.2 (6) 浚渫計画断面図



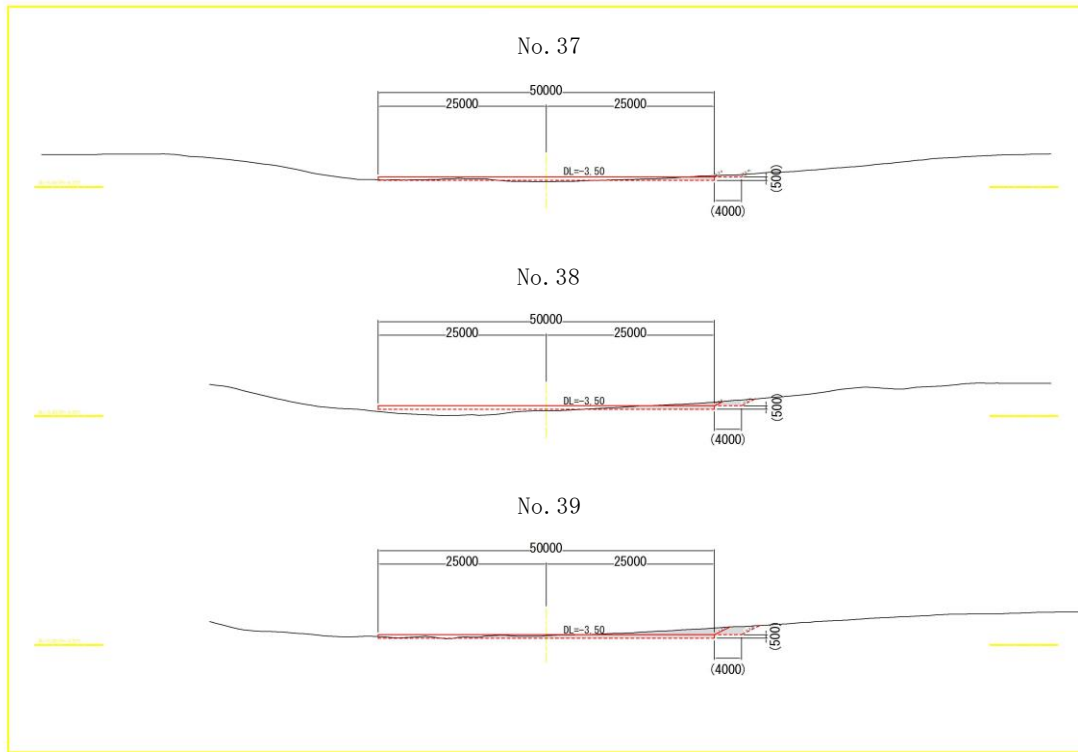
※港内側から港外側を望む

図 2.2(7) 浚渫計画断面図



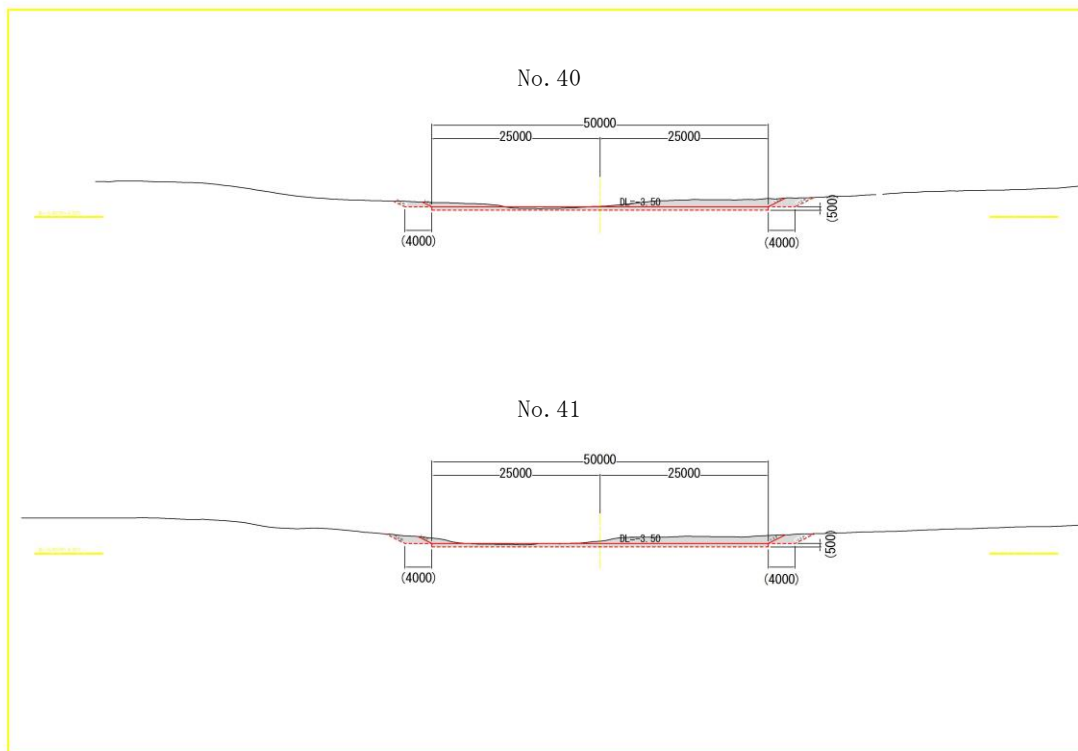
※港内側から港外側を望む

図 2.2(8) 浚渫計画断面図



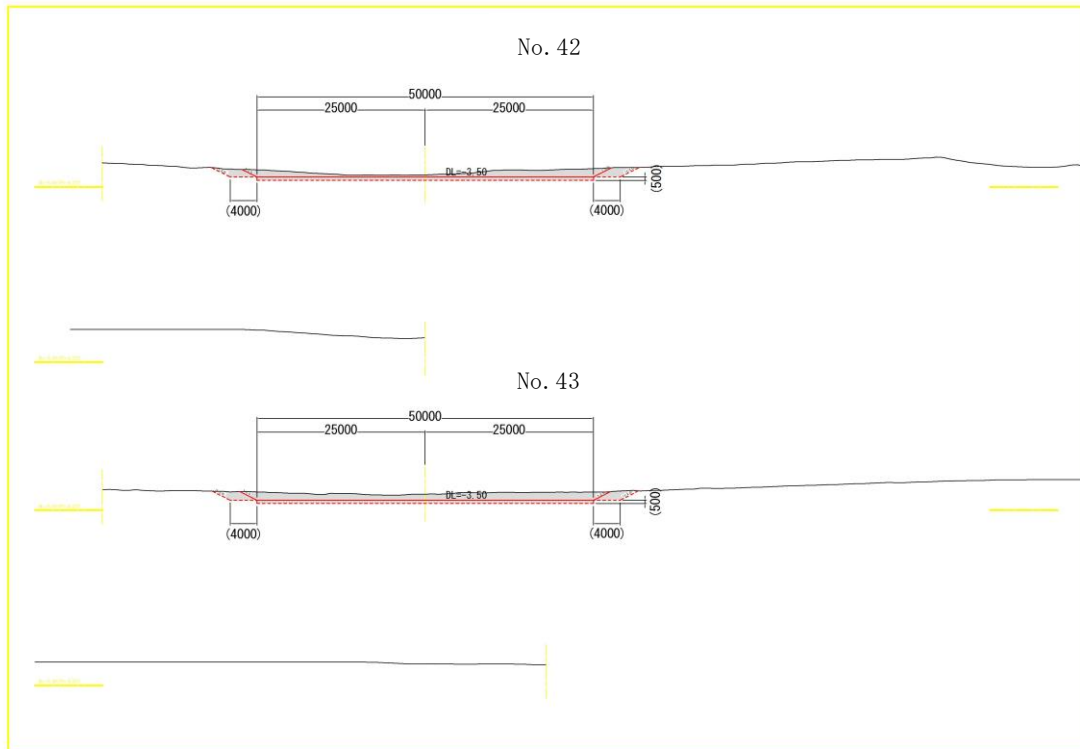
※港内側から港外側を望む

図 2.2(9) 浚渫計画断面図



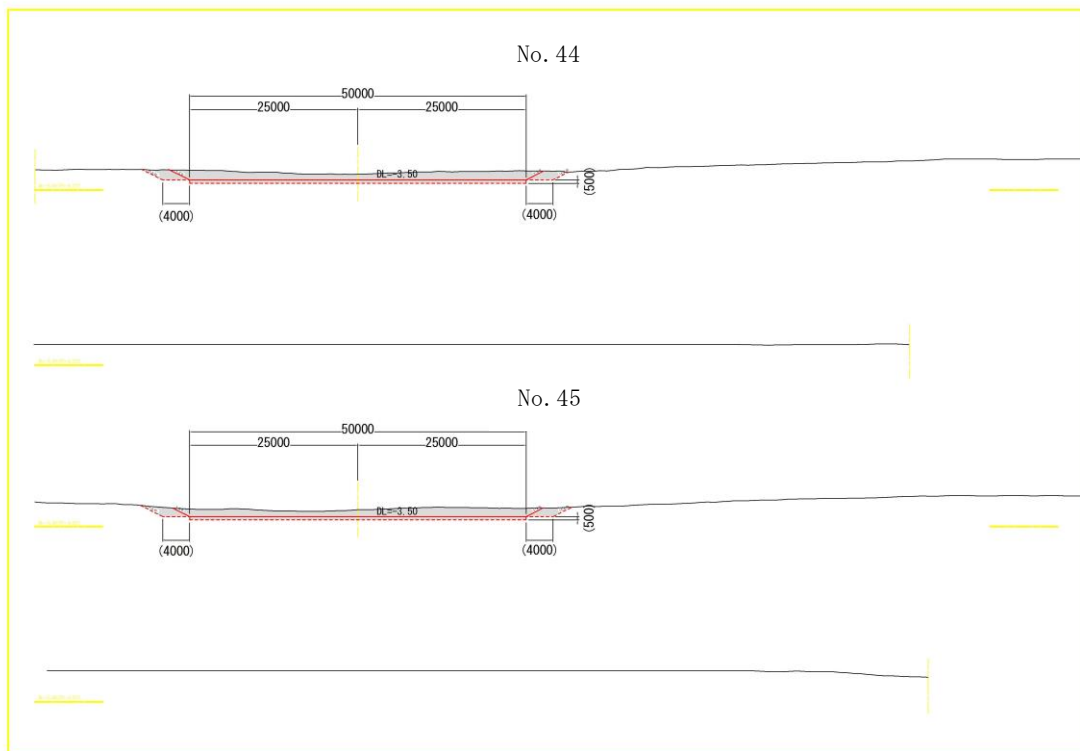
※港内側から港外側を望む

図 2.2(10) 浚渫計画断面図



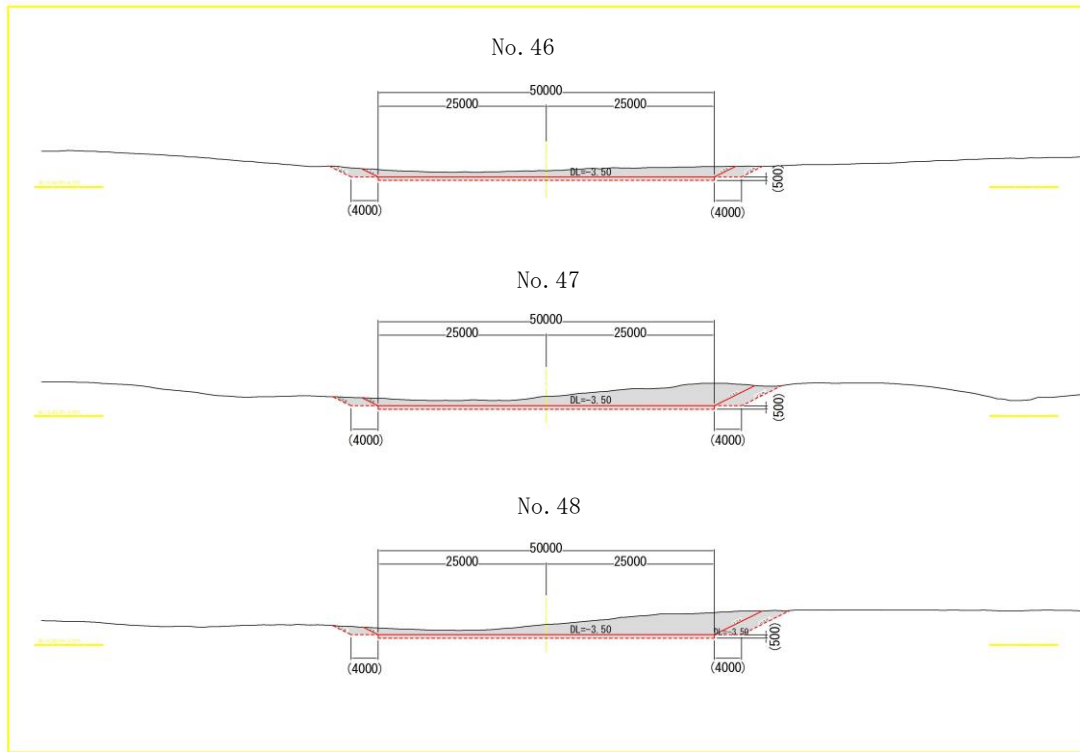
※港内側から港外側を望む

図 2.2(11) 浚渫計画断面図



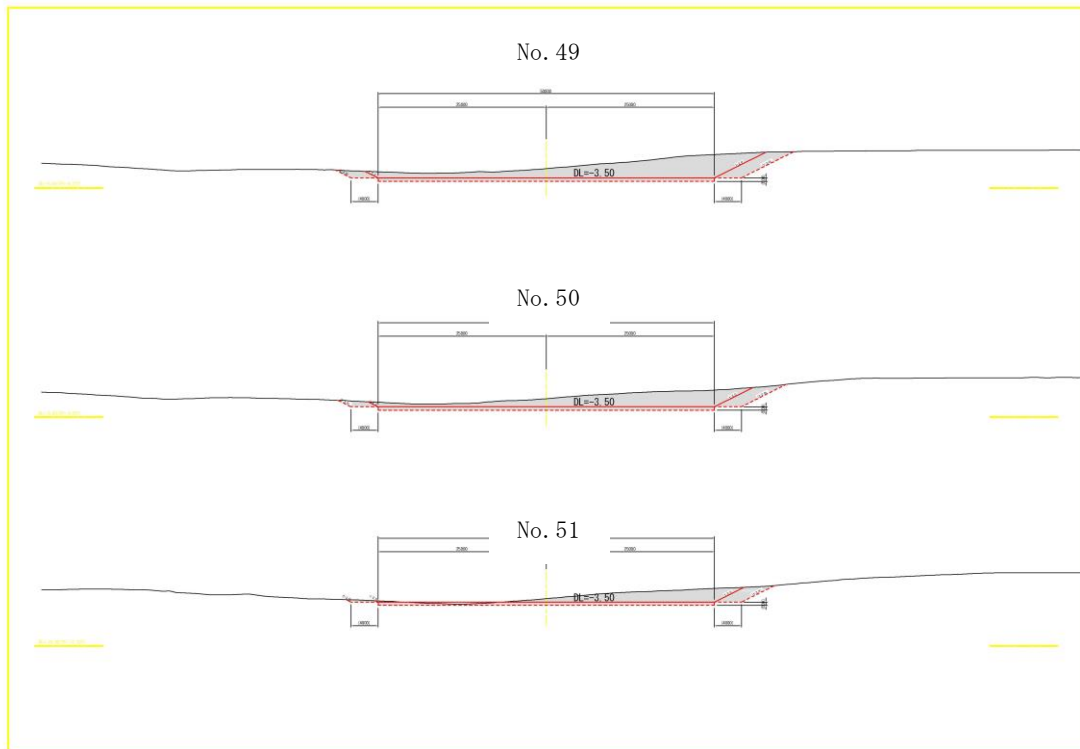
※港内側から港外側を望む

図 2.2(12) 浚渫計画断面図



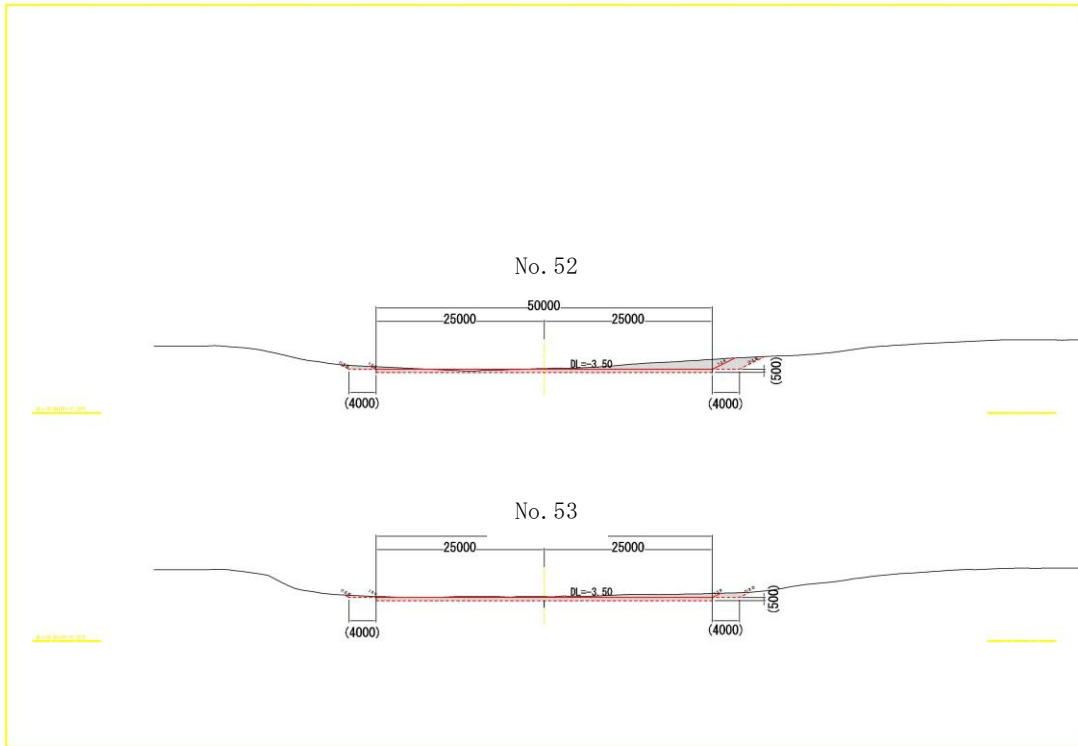
※港内側から港外側を望む

図 2.2(13) 浚渫計画断面図



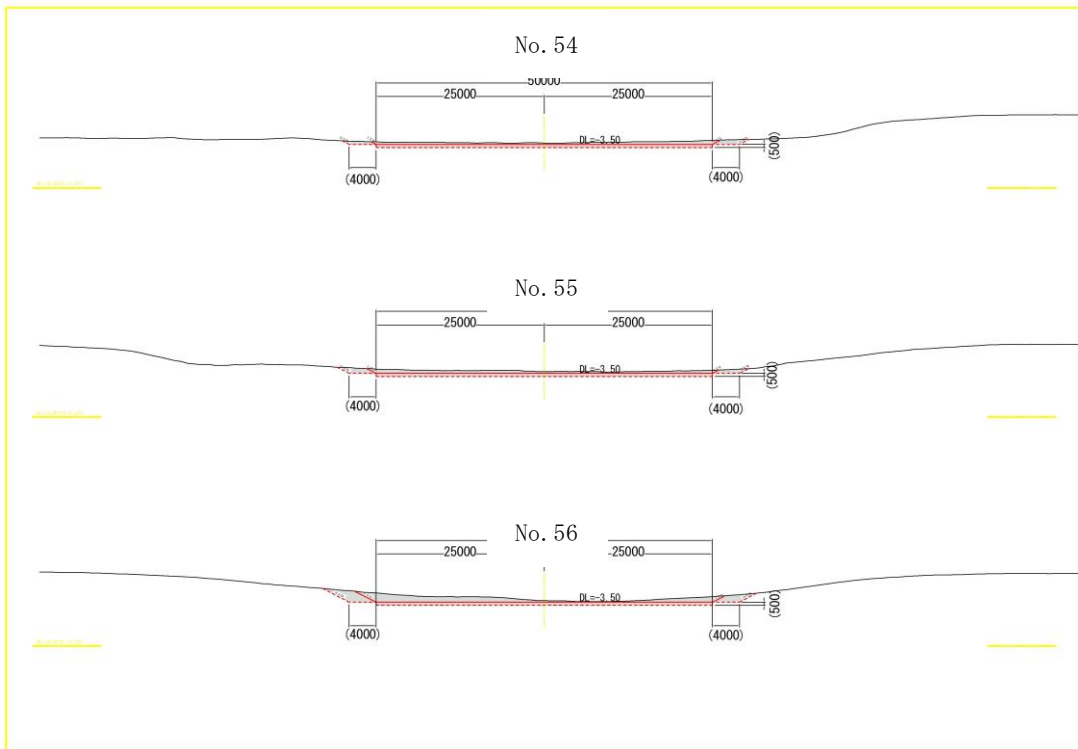
※港内側から港外側を望む

図 2.2(14) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む

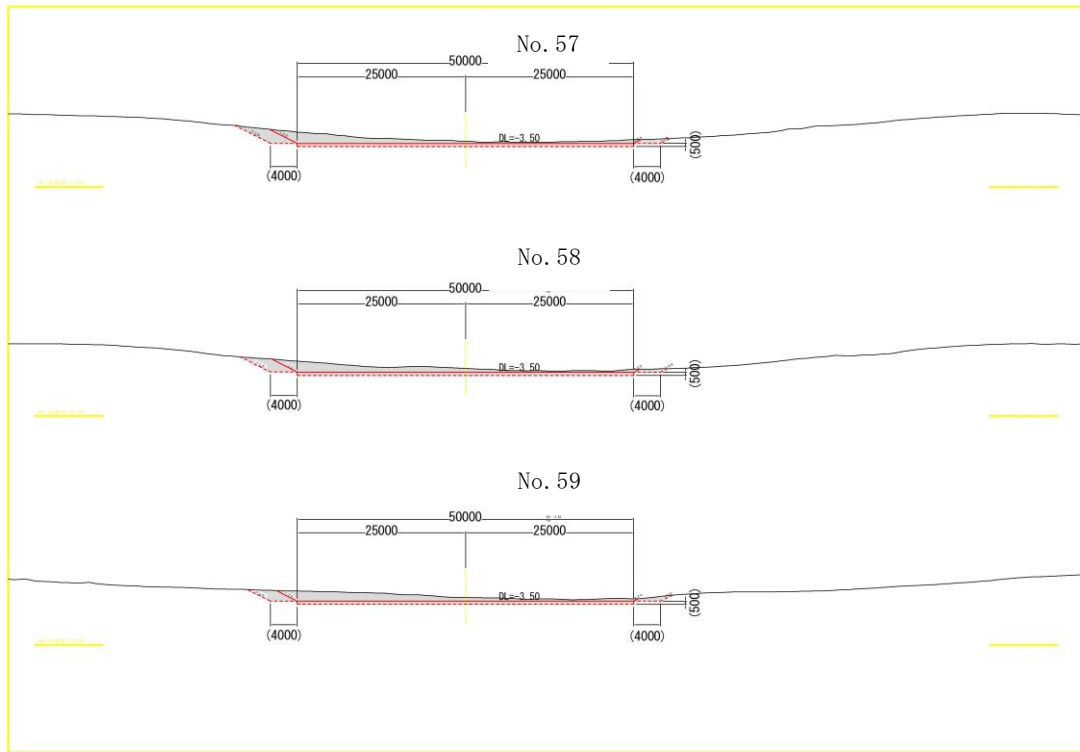
図 2.2(15) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む

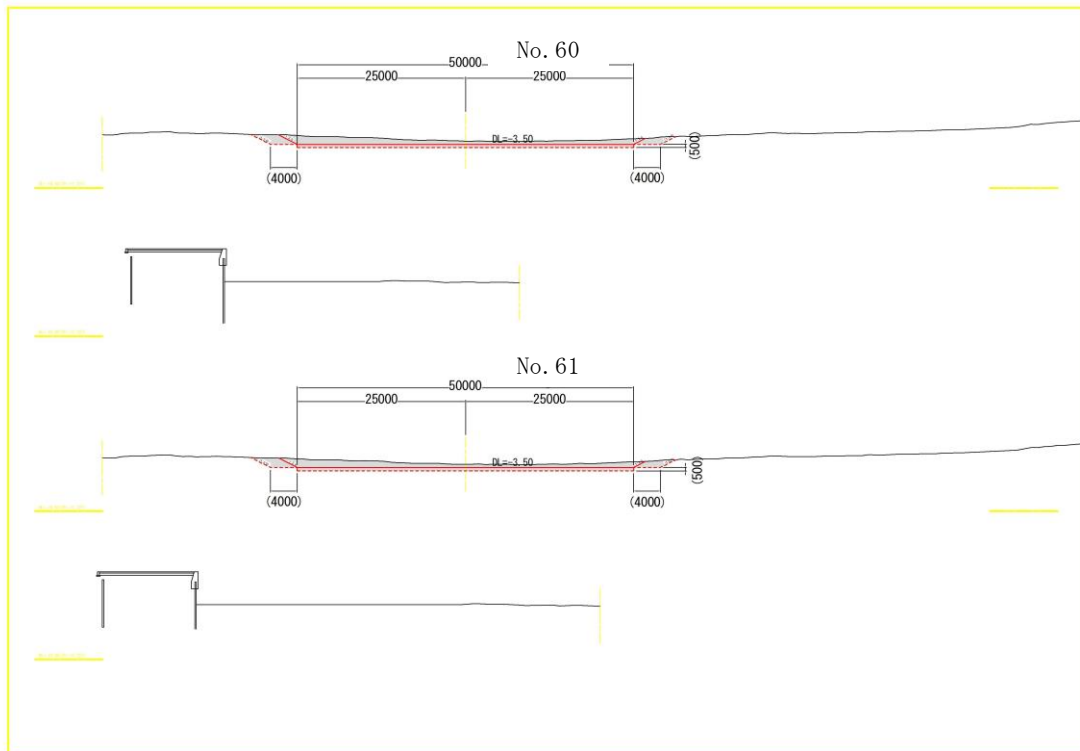
図 2.2(16) 浚渫計画断面図





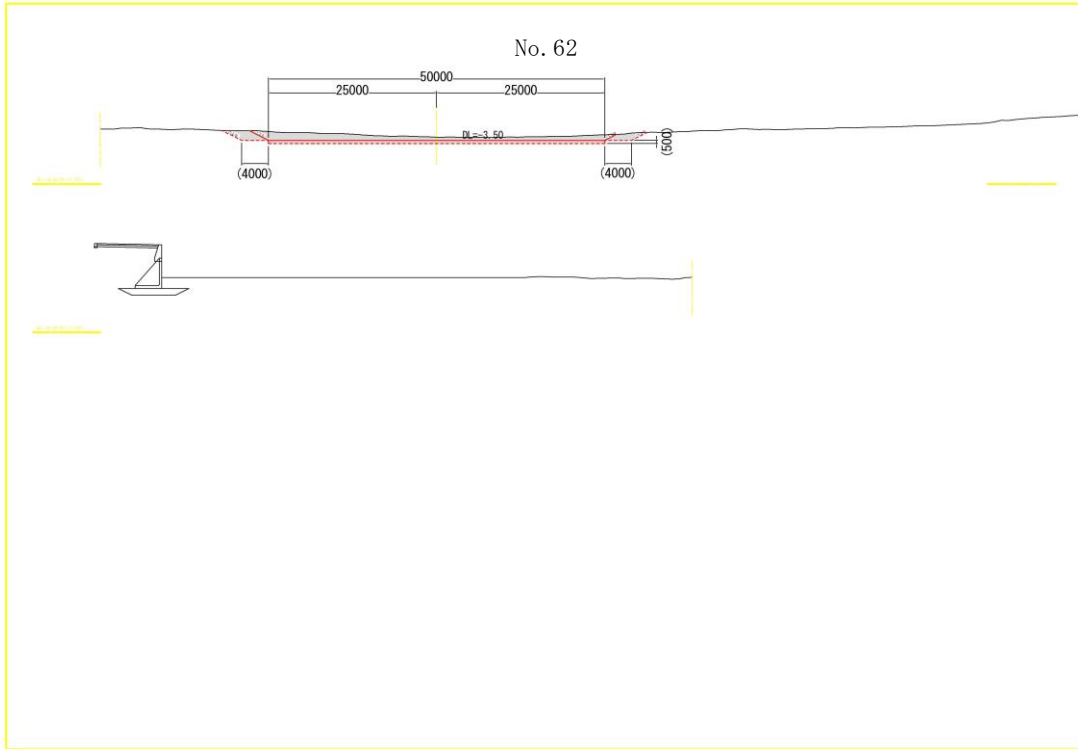
※港内側から港外側を望む

図 2.2(17) 浚渫計画断面図



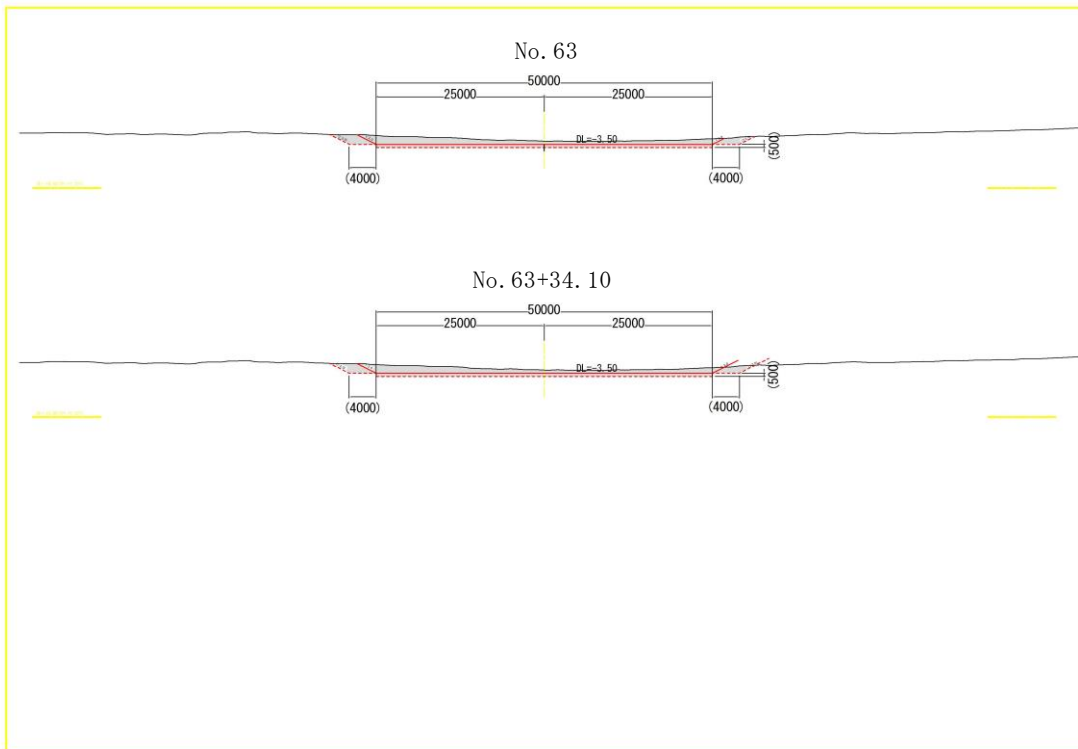
※港内側から港外側を望む

図 2.2(18) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む

図 2.2 (19) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む

図 2.2 (20) 浚渫計画断面

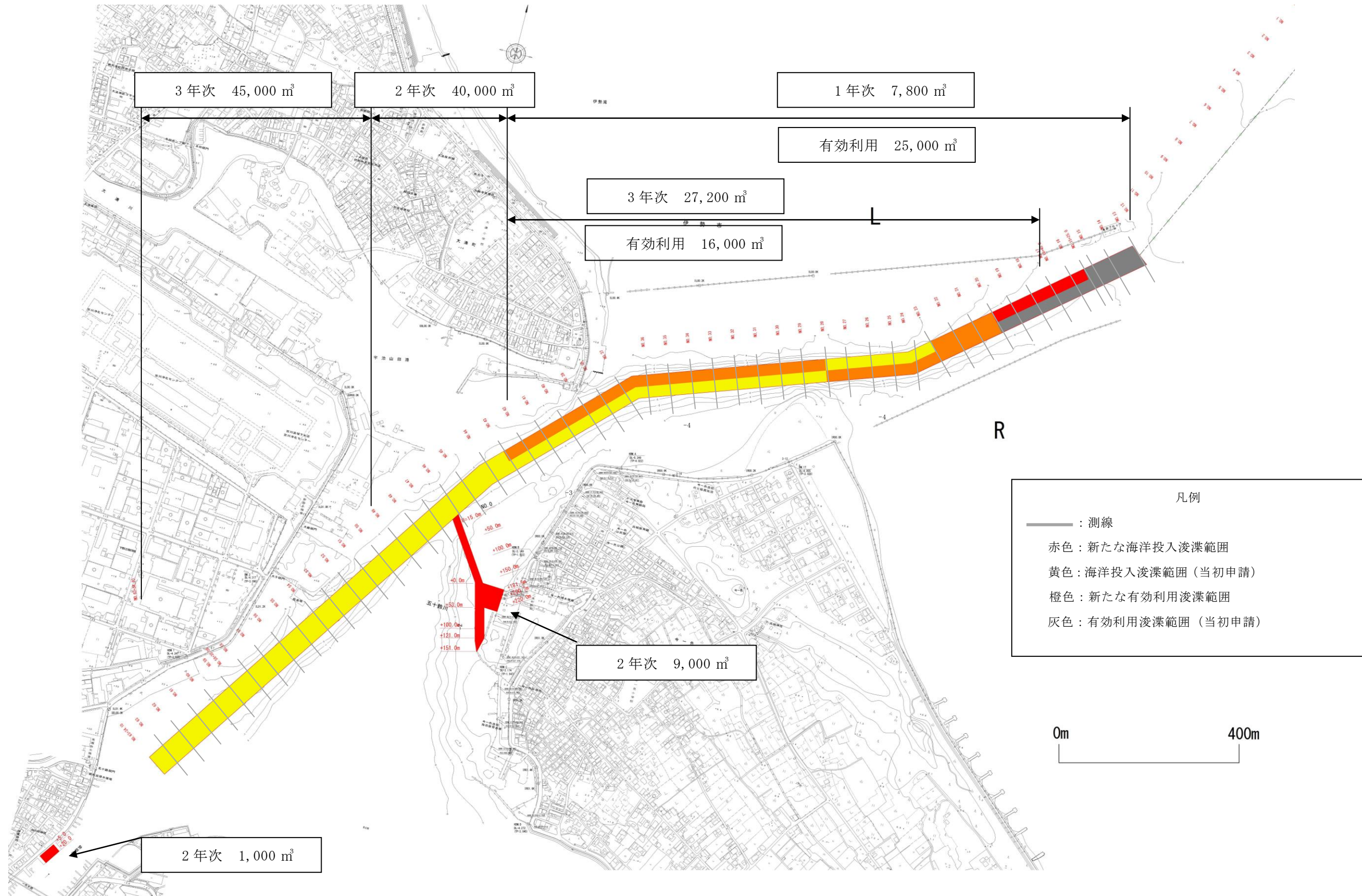
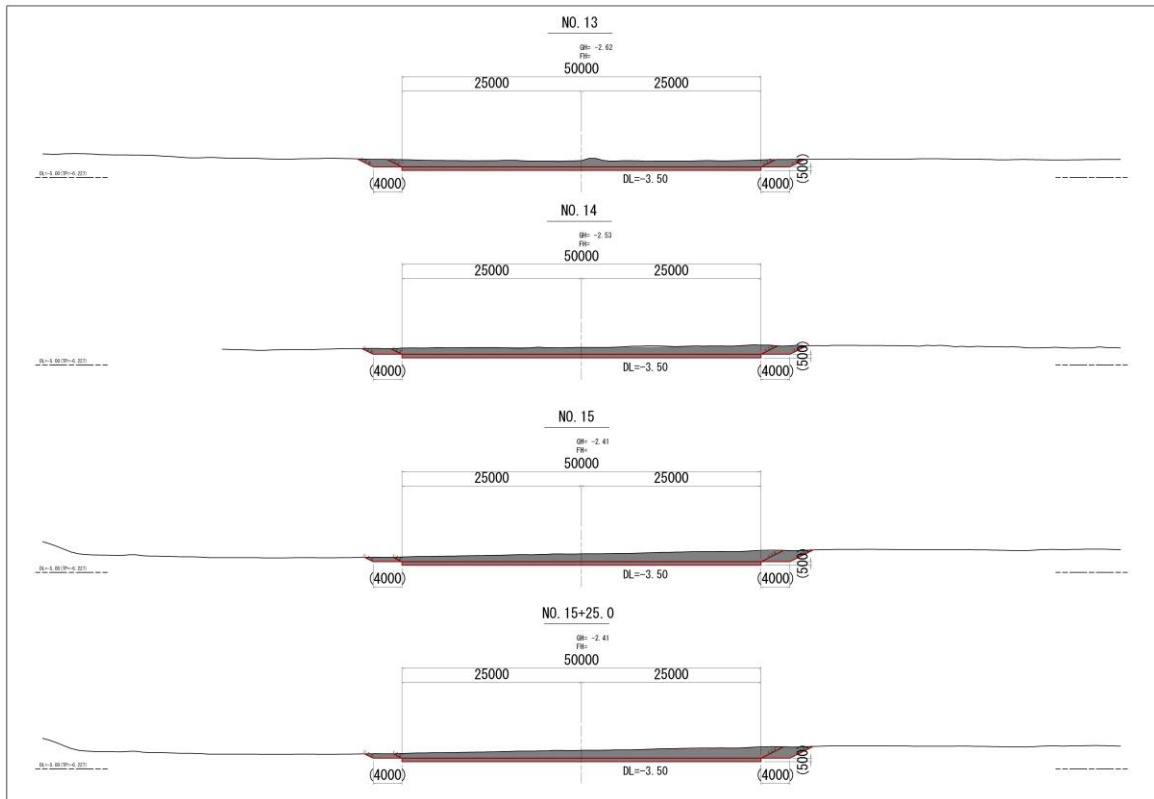


図 2.3 浚渫計画平面図 (前回変更申請時)

表 2.2 必要浚渫量【航路浚渫】（前回変更申請時）

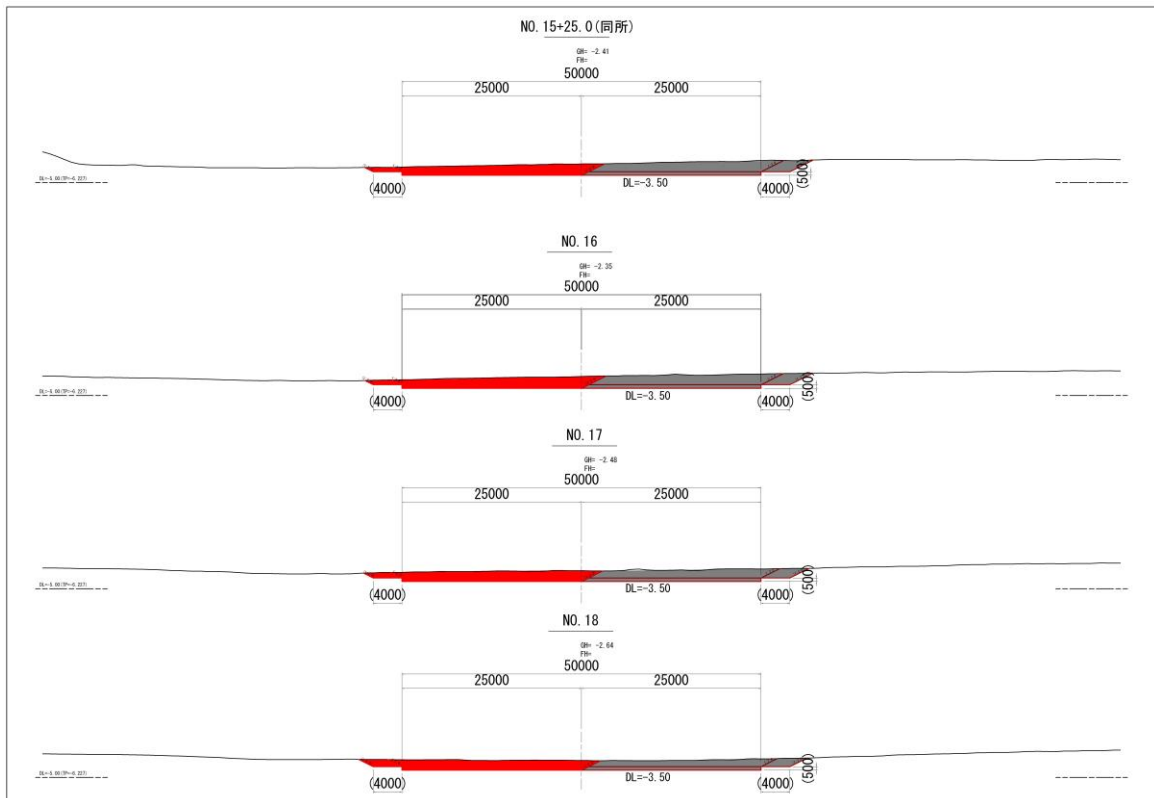
測点	距離 (m)	断面積 (m <sup>2</sup> )		有効利用		海洋投入		各年次 浚渫土量
		左側	右側	みなし平均 断面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )	みなし平均 断面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )	
No. 13	-	79.0	0.0	-	-	-	-	
No. 14	50.00	86.2	0.0	82.60	4130.0	0.00	0.0	
No. 15	50.00	91.6	0.0	88.90	4445.0	0.00	0.0	
No. 15+25.0	25.00	91.6	0.0	91.60	2290.0	0.00	0.0	
No. 15+25.0	0.00	38.9	52.7	26.35	0.0	65.25	0.0	
No. 16	25.00	40.6	53.2	52.95	1323.8	39.75	993.8	
No. 17	50.00	40.3	46.5	49.85	2492.5	40.45	2022.5	
No. 18	50.00	41.0	40.1	43.30	2165.0	40.65	2032.5	
No. 19	50.00	43.2	32.6	36.35	1817.5	42.10	2105.0	
No. 20	50.00	46.8	26.5	29.55	1477.5	45.00	2250.0	
No. 20	0.00	73.3	0.0	60.05	0.0		0.0	
No. 21	50.00	70.1	0.0	71.70	3585.0		0.0	1年次 海洋投入 7,800m <sup>3</sup>
No. 22	50.00	69.1	0.0	69.60	3480.0		0.0	
No. 23	50.00	77.4	0.0	73.25	3662.5		0.0	
No. 23	0.00	14.2	63.2	31.60	0.0	45.80	0.0	有効利用 25,000m <sup>3</sup>
No. 24	50.00	43.9	13.8	38.50	1925.0	29.05	1452.5	
No. 25	50.00	45.8	11.5	12.65	632.5	44.85	2242.5	
No. 26	50.00	38.5	6.3	8.90	445.0	42.15	2107.5	
No. 27	50.00	27.8	3.7	5.00	250.0	33.15	1657.5	
No. 28	50.00	8.5	5.9	4.80	240.0	18.15	907.5	3年次 海洋投入 27,200m <sup>3</sup>
No. 28	0.00	8.5	5.9	8.50	0.0	5.90	0.0	
No. 29	50.00	1.1	30.7	4.80	240.0	18.30	915.0	
No. 30	50.00	0.5	29.4	0.80	40.0	30.05	1502.5	
No. 31	50.00	4.5	18.7	2.50	125.0	24.05	1202.5	有効利用 16,000m <sup>3</sup>
No. 32	50.00	1.2	17.8	2.85	142.5	18.25	912.5	
No. 33	50.00	7.6	17.0	4.40	220.0	17.40	870.0	
No. 34	50.00	3.9	16.9	5.75	287.5	16.95	847.5	
No. 35	50.00	0.9	10.7	2.40	120.0	13.80	690.0	
No. 36	50.00	2.3	6.1	1.60	80.0	8.40	420.0	
No. 37	50.00	2.5	6.4	2.40	120.0	6.25	312.5	
No. 38	50.00	0.0	13.7	1.25	62.5	10.05	502.5	
No. 39	50.00	5.2	27.8	2.60	130.0	20.75	1037.5	
No. 40	50.00	19.4	40.5	12.30	615.0	34.15	1707.5	
No. 41	50.00	19.8	43.3	19.60	980.0	41.90	2095.0	
No. 42	50.00	30.3	40.9	25.05	1252.5	42.10	2105.0	
No. 43	50.00	42.3	47.2	36.30	1815.0	44.05	2202.5	
No. 43	0.00	89.5	0.0		0.0	65.90	0.0	
No. 44	50.00	96.2	0.0		0.0	92.85	4642.5	2年次 海洋投入 40,000m <sup>3</sup>
No. 45	50.00	94.4	0.0		0.0	95.30	4765.0	
No. 46	50.00	93.6	0.0		0.0	94.00	4700.0	
No. 47	50.00	136.7	0.0		0.0	115.15	5757.5	
No. 48	50.00	143.3	0.0		0.0	140.00	7000.0	
No. 49	50.00	142.7	0.0		0.0	143.00	7150.0	
No. 50	50.00	114.7	0.0		0.0	128.70	6435.0	
No. 51	50.00	72.5	0.0		0.0	93.60	4680.0	
No. 52	50.00	54.0	0.0		0.0	63.25	3162.5	
No. 53	50.00	39.2	0.0		0.0	46.60	2330.0	
No. 54	50.00	44.3	0.0		0.0	41.75	2087.5	
No. 55	50.00	48.4	0.0		0.0	46.35	2317.5	
No. 56	50.00	66.7	0.0		0.0	57.55	2877.5	
No. 57	50.00	67.9	0.0		0.0	67.30	3365.0	
No. 58	50.00	68.8	0.0		0.0	68.35	3417.5	
No. 59	50.00	72.7	0.0		0.0	70.75	3537.5	3年次 海洋投入 45,000m <sup>3</sup>
No. 60	50.00	72.3	0.0		0.0	72.50	3625.0	
No. 61	50.00	72.3	0.0		0.0	72.30	3615.0	
No. 62	50.00	72.3	0.0		0.0	72.30	3615.0	
No. 63	50.00	72.3	0.0		0.0	72.30	3615.0	
No. 63+34.10	34.10	72.3	0.0		0.0	72.30	2465.4	
合計	2534.10				41,000		120,000	

※ 合計値は数字を丸めて記載してある。



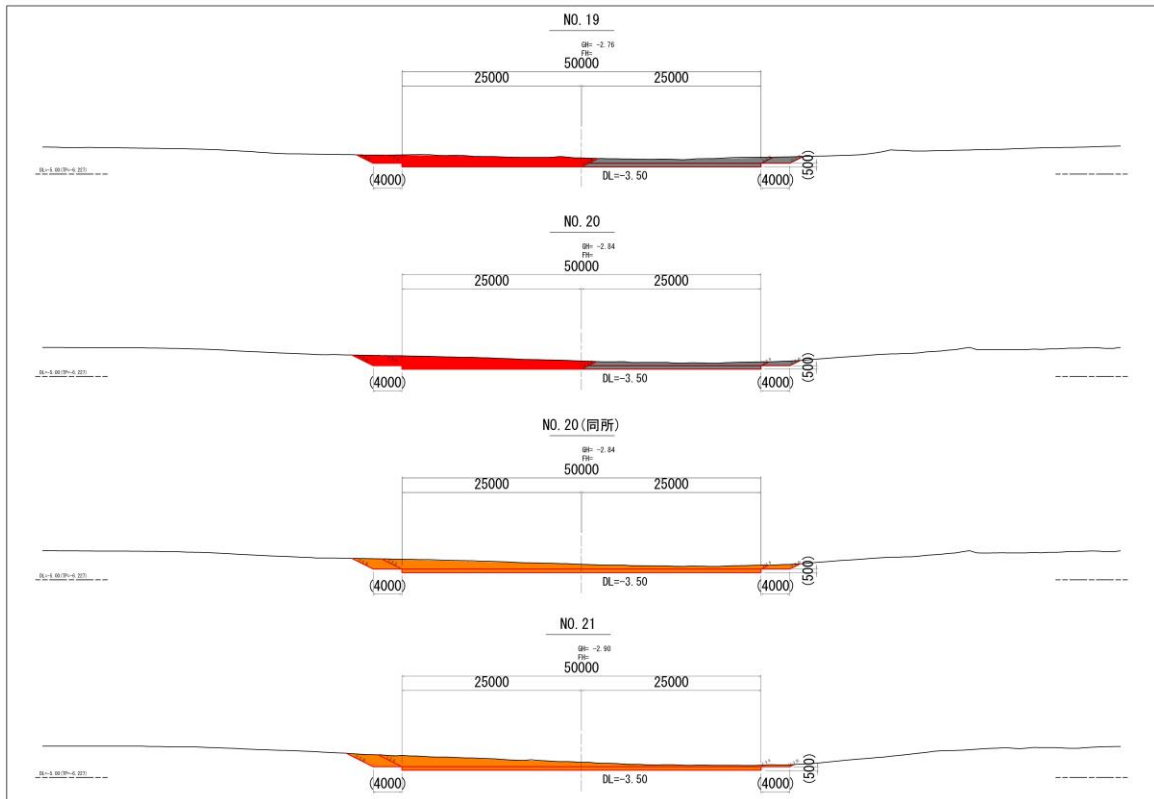
※港内側から港外側を望む (灰色：有効利用浚渫範囲)

図 2.4(1) 浚渫計画断面図



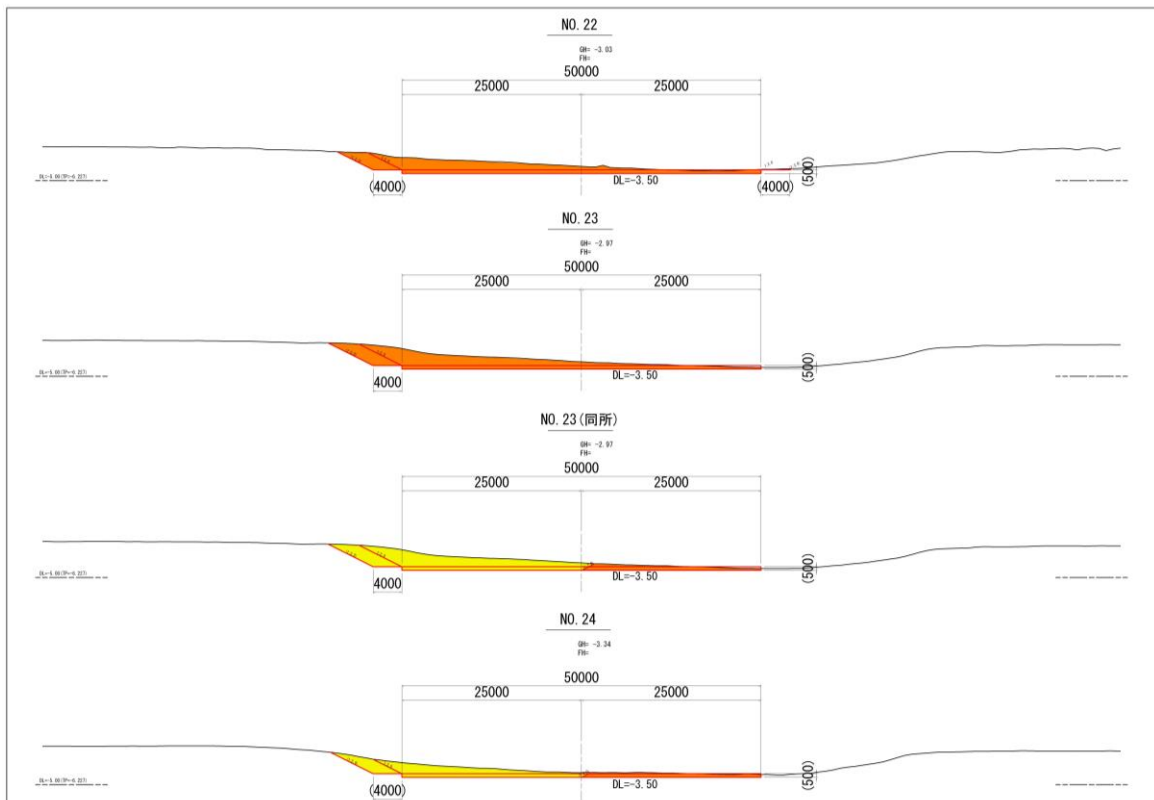
※港内側から港外側を望む (赤色：新たな海洋投入浚渫範囲、灰色：有効利用浚渫範囲)

図 2.4(2) 浚渫計画断面図



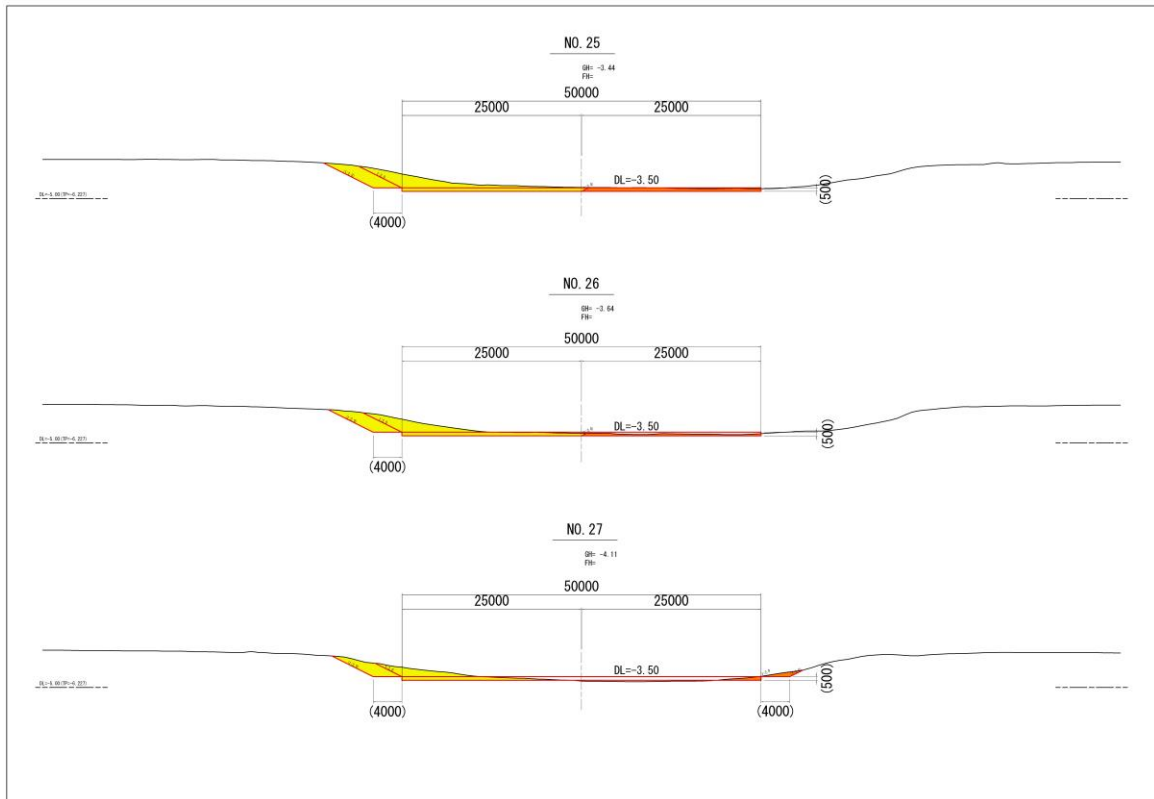
※港内側から港外側を望む (赤色：新たな海洋投入浚渫範囲、  
 橙色：新たな有効利用浚渫範囲、灰色：有効利用浚渫範囲)

図 2.4(3) 浚渫計画断面図



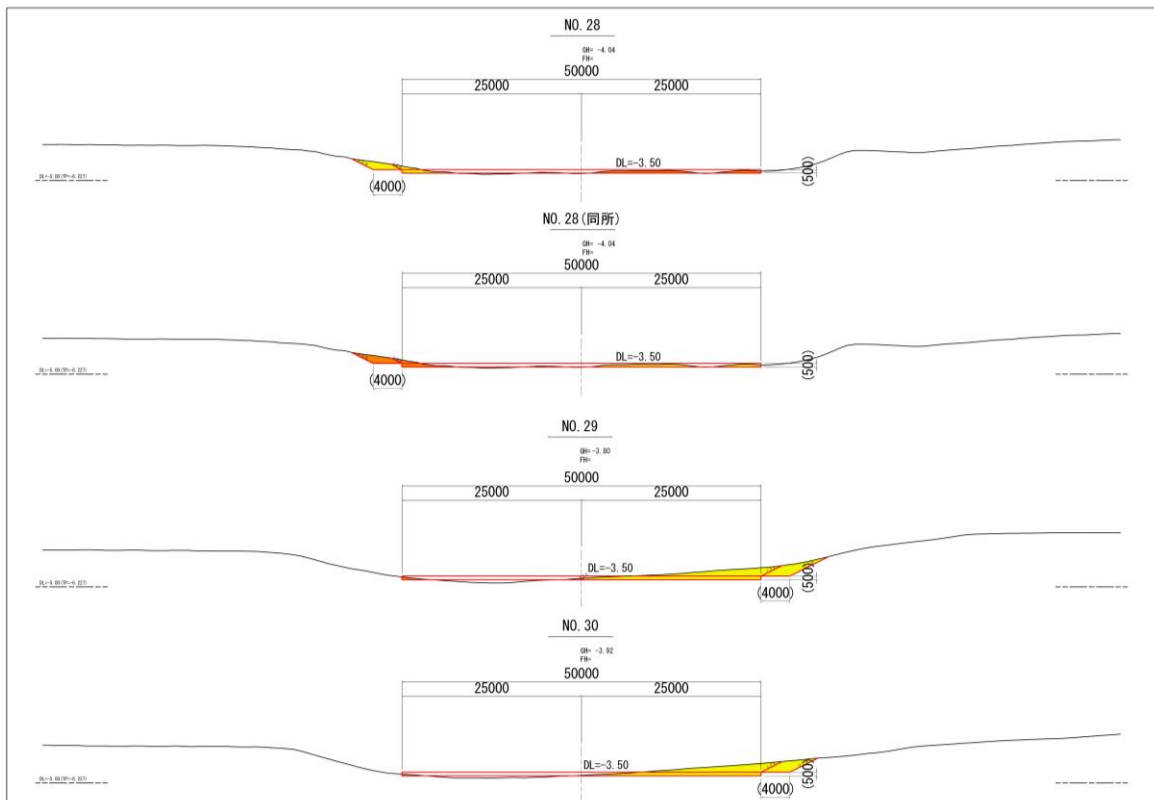
※港内側から港外側を望む  
 (橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(4) 浚渫計画断面図



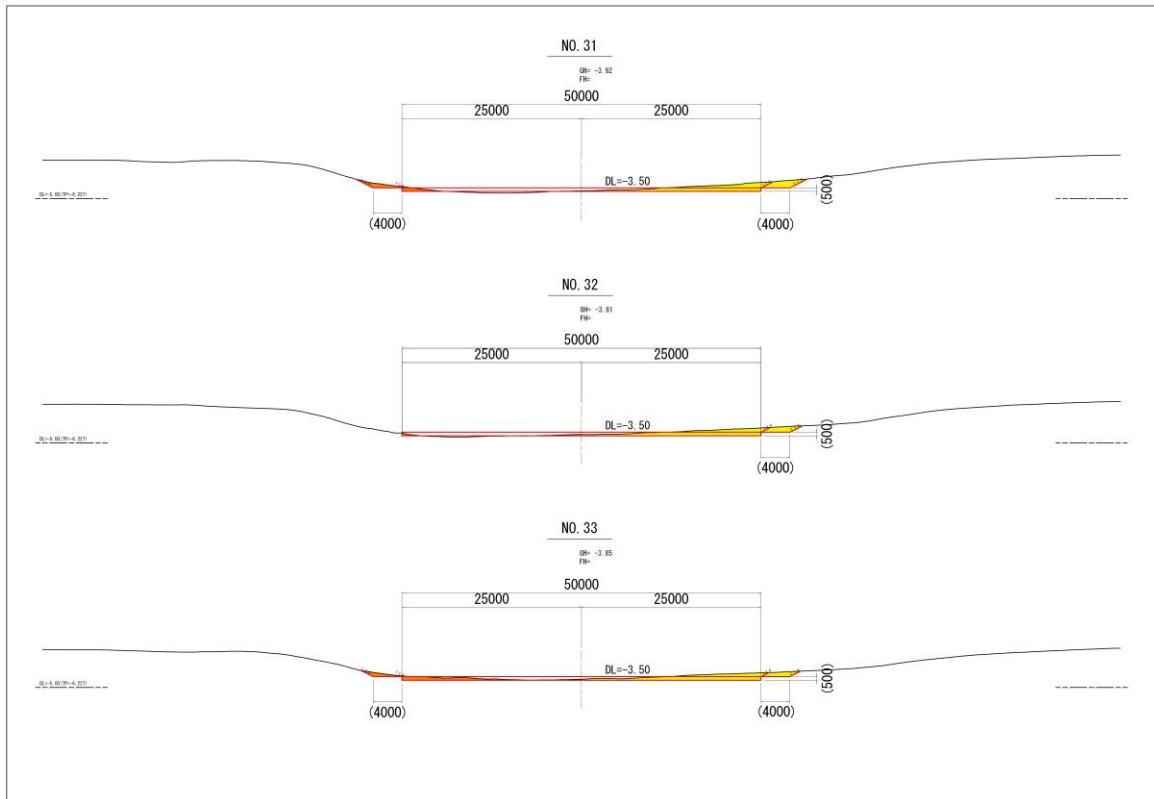
※港内側から港外側を望む  
 (橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2-4(5) 浚渫計画断面図



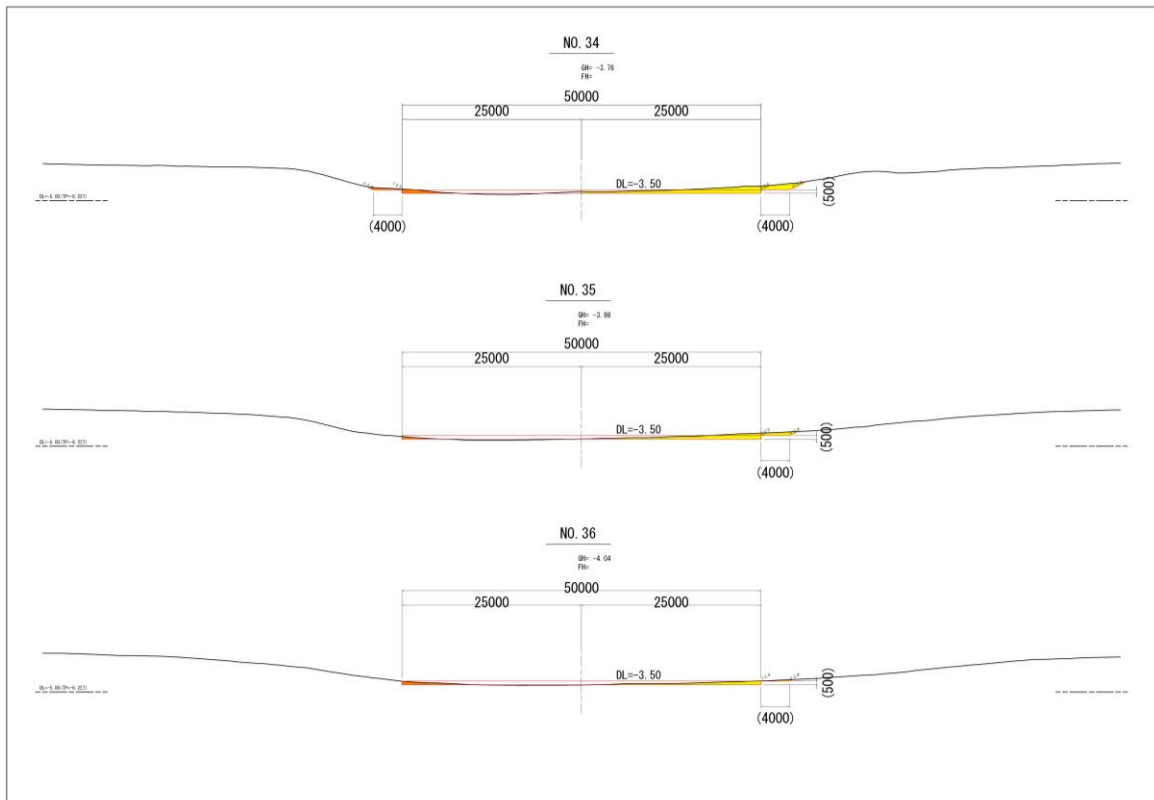
※港内側から港外側を望む  
 (橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(6) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む  
(橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

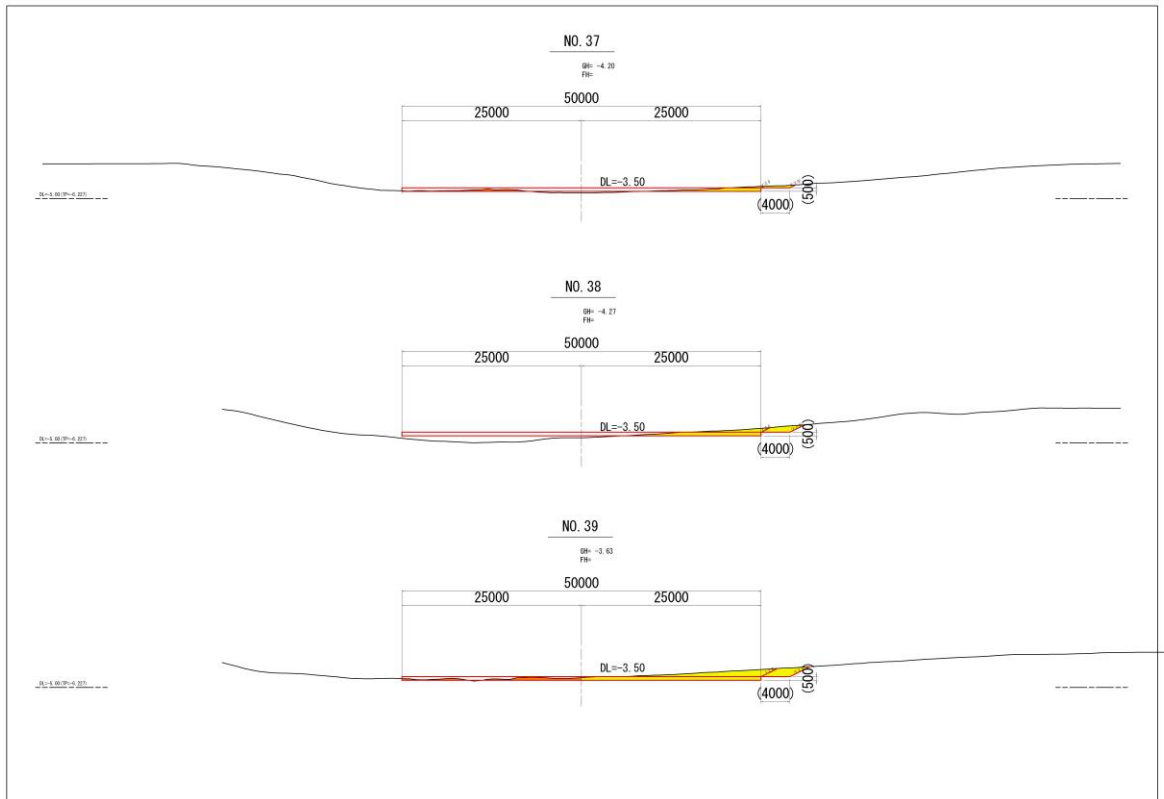
図 2.4(7) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む  
(橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

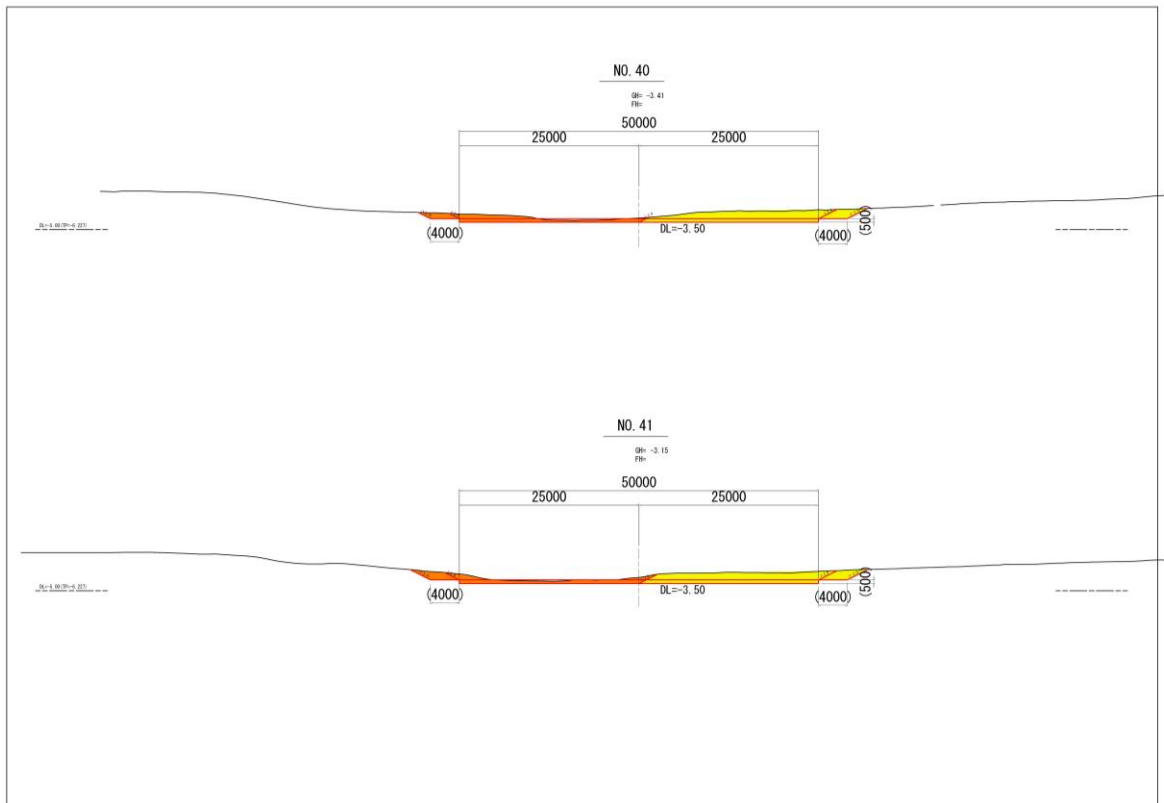
図 2.4(8) 浚渫計画断面図





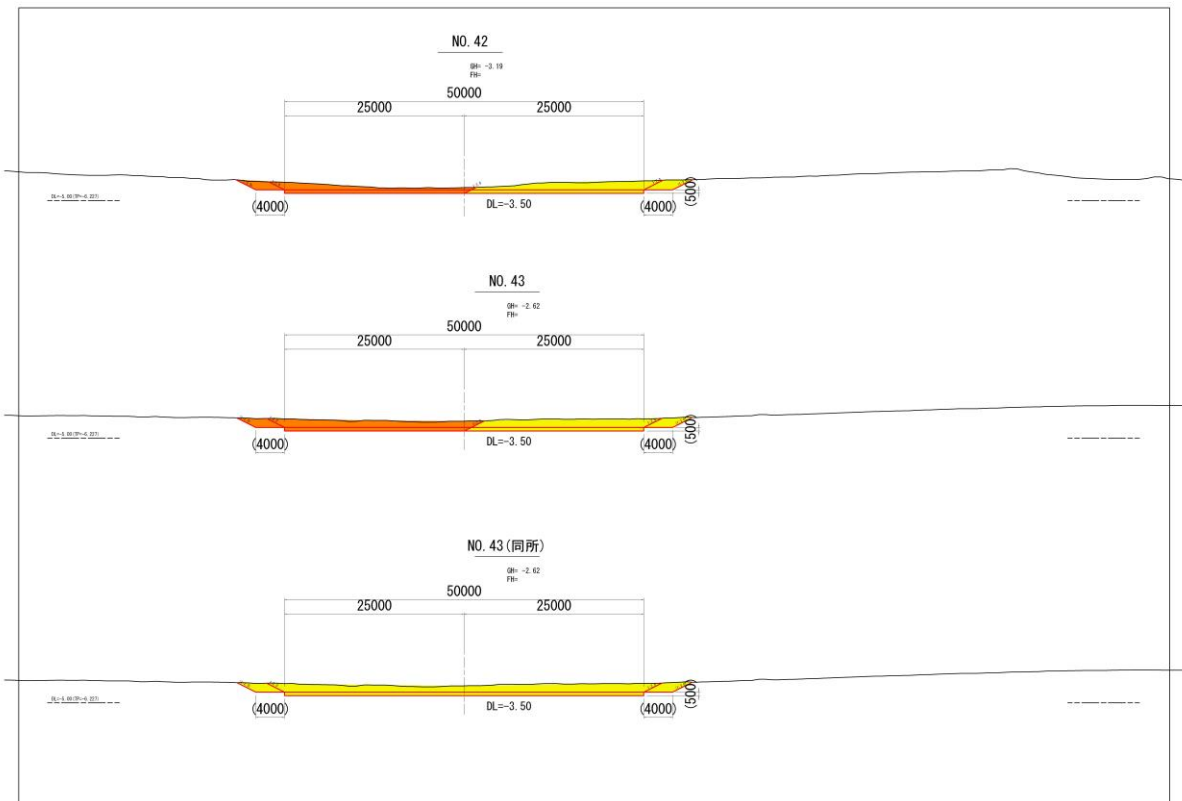
※港内側から港外側を望む  
 (橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(9) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む  
 (橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(10) 浚渫計画断面図



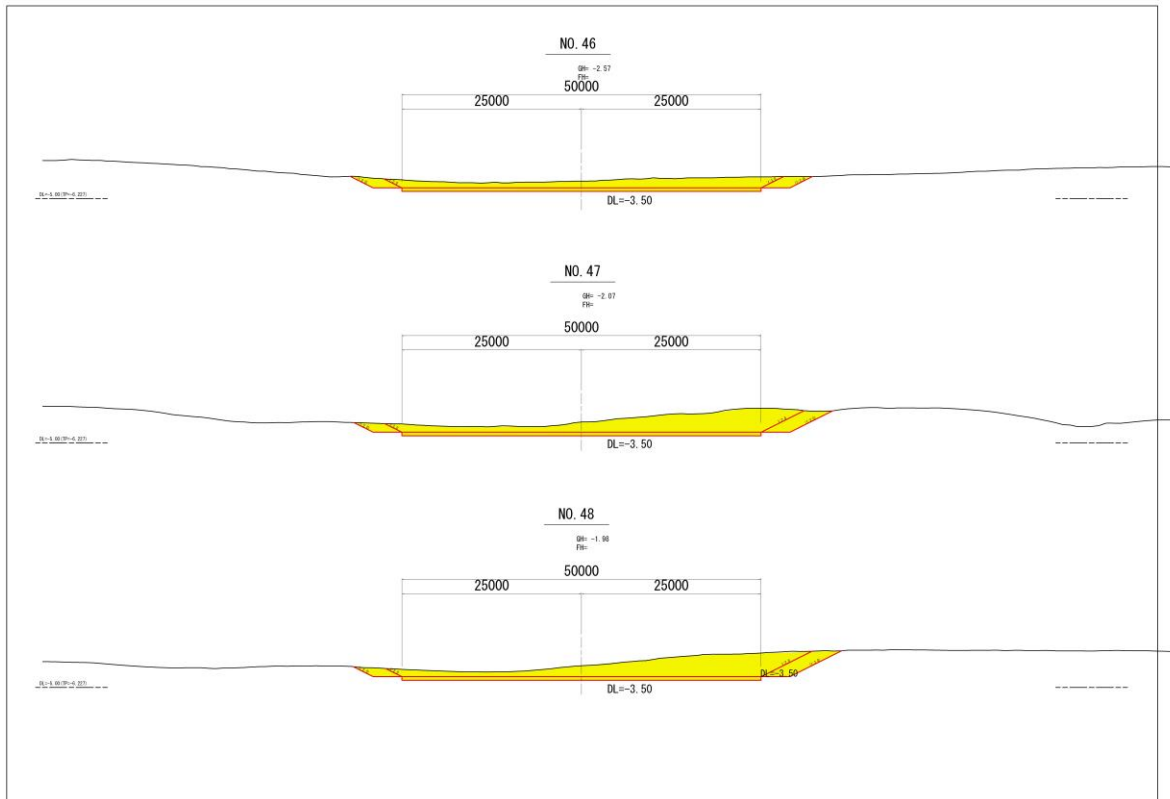
※港内側から港外側を望む  
 (橙色：新たな有効利用浚渫範囲、黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(11) 浚渫計画断面図



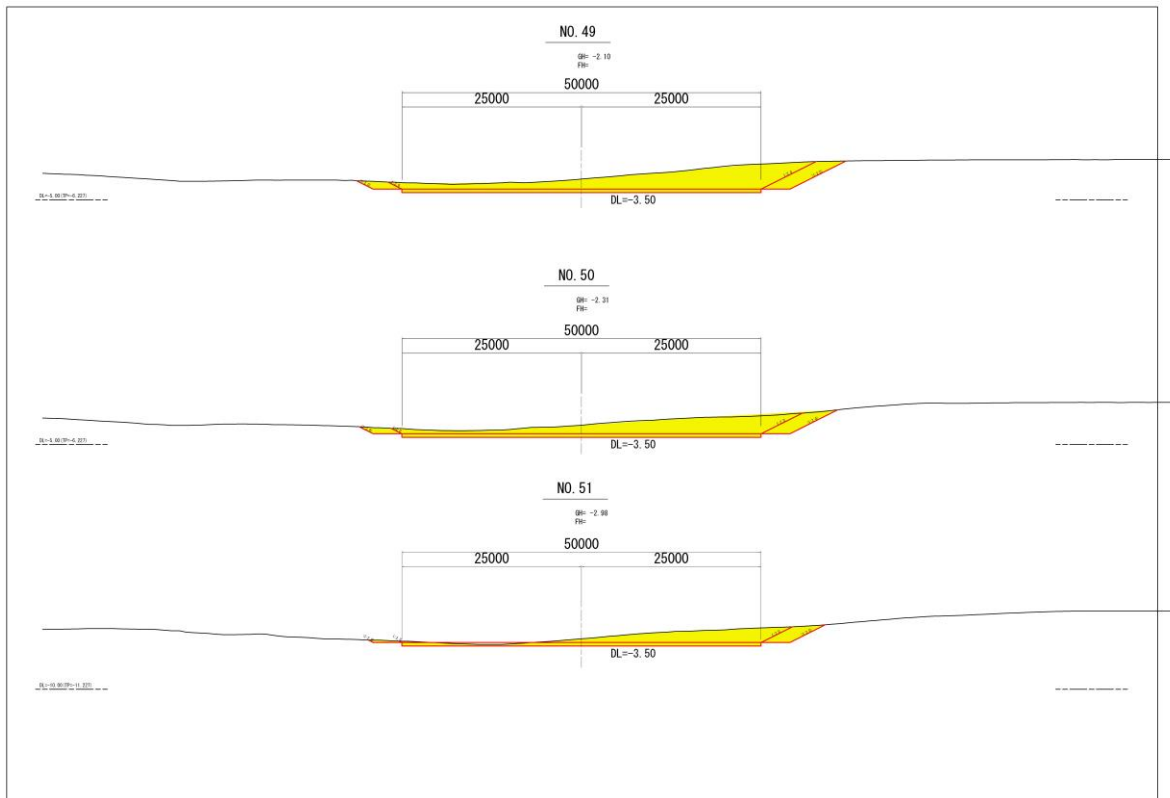
※港内側から港外側を望む (黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(12) 浚渫計画断面図



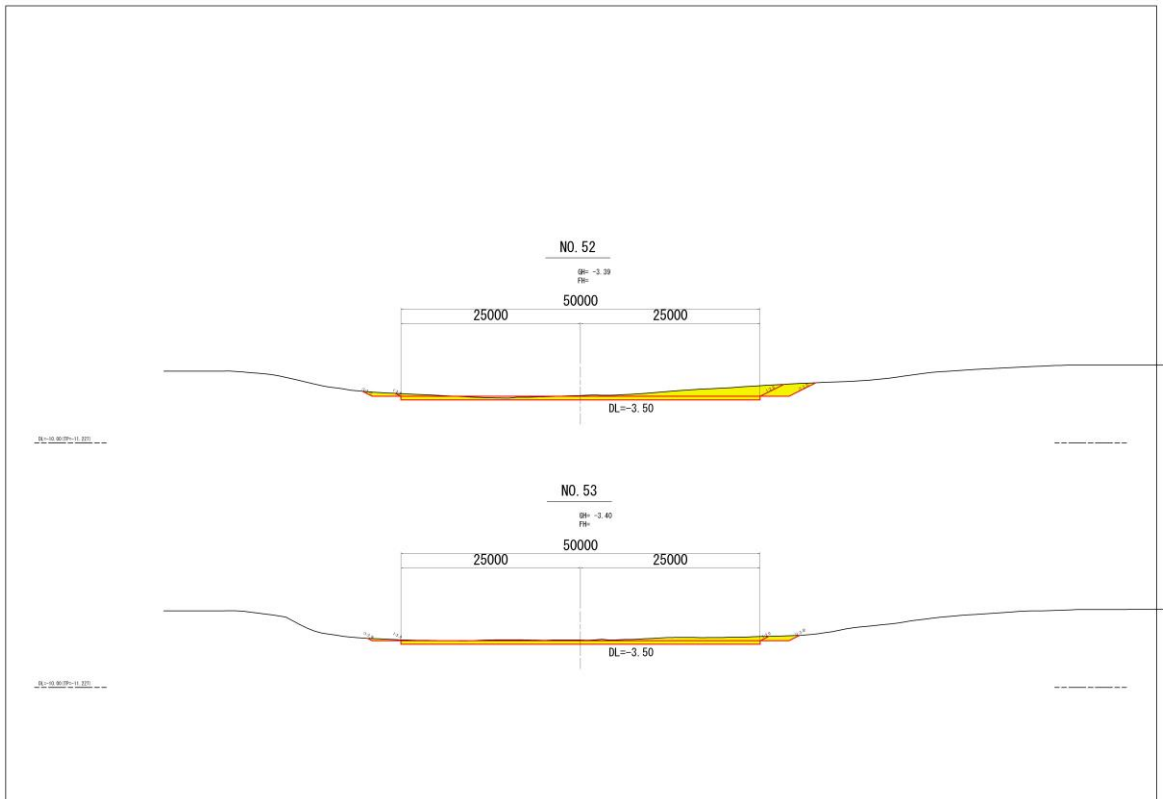
※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(13) 浚渫計画断面図



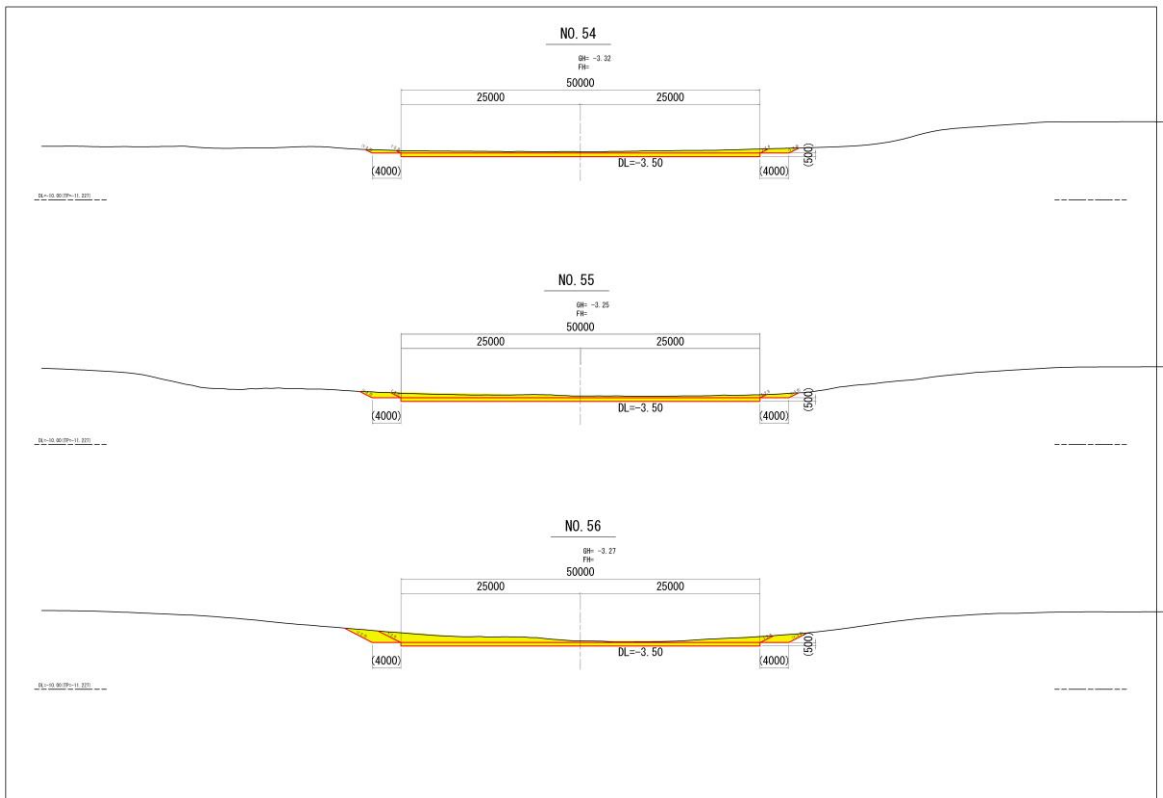
※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(14) 浚渫計画断面図



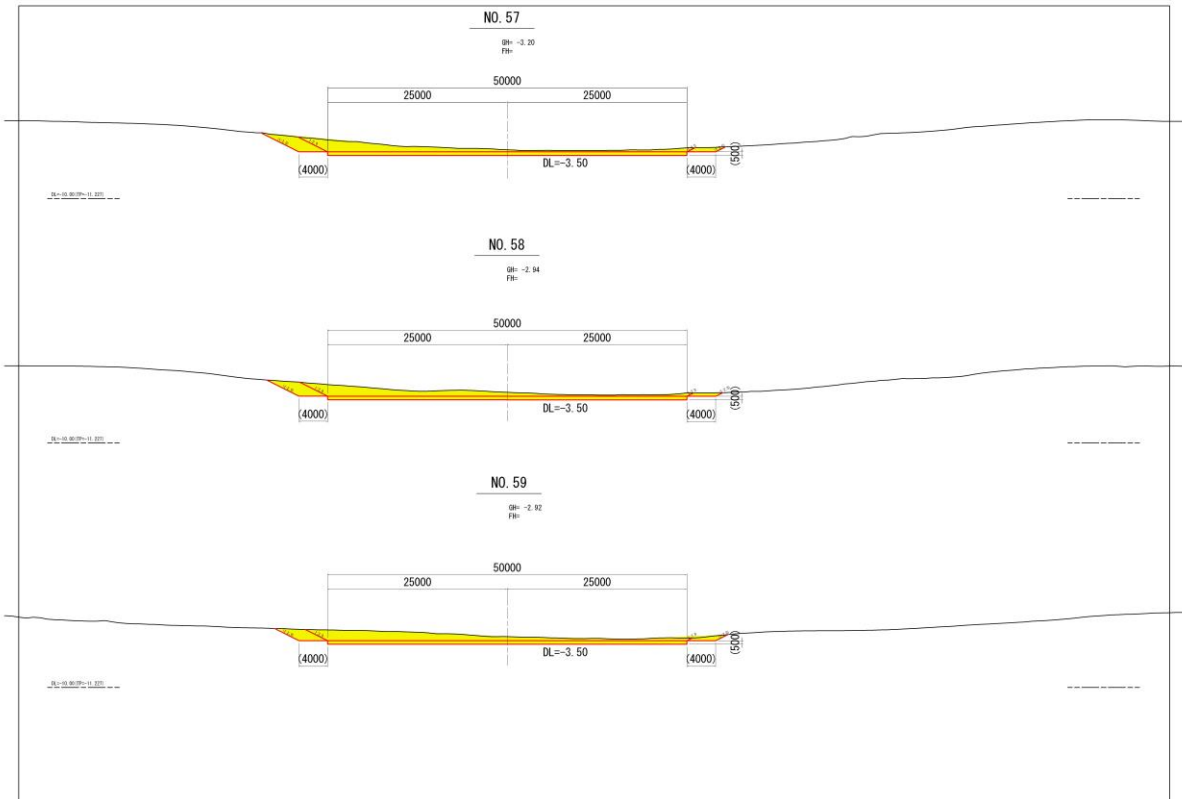
※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(15) 浚渫計画断面図



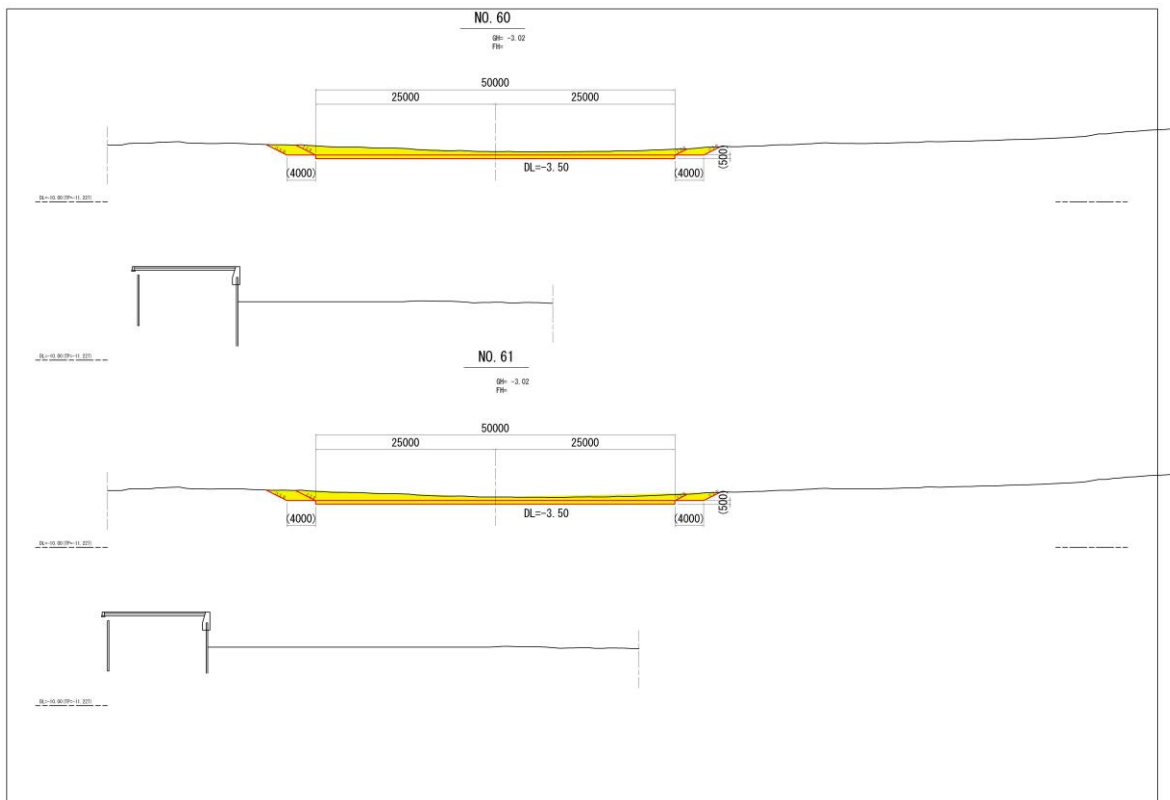
※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(16) 浚渫計画断面図



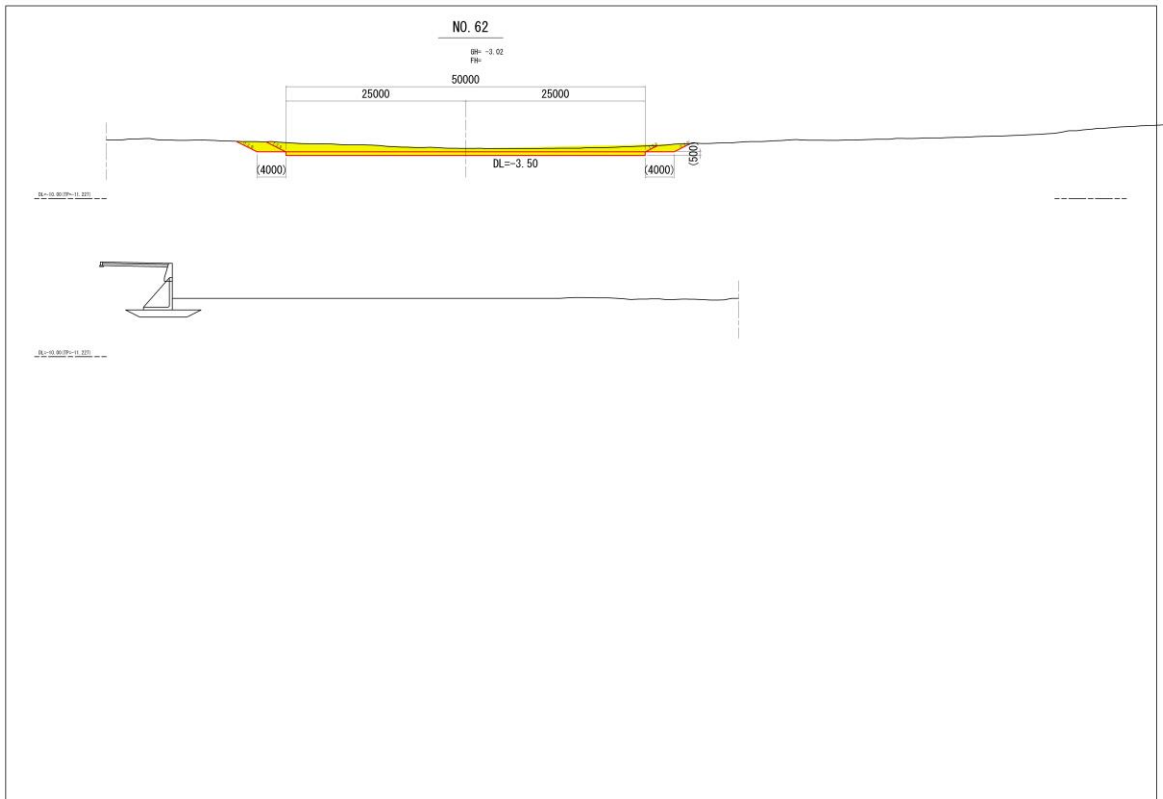
※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(17) 浚渫計画断面図



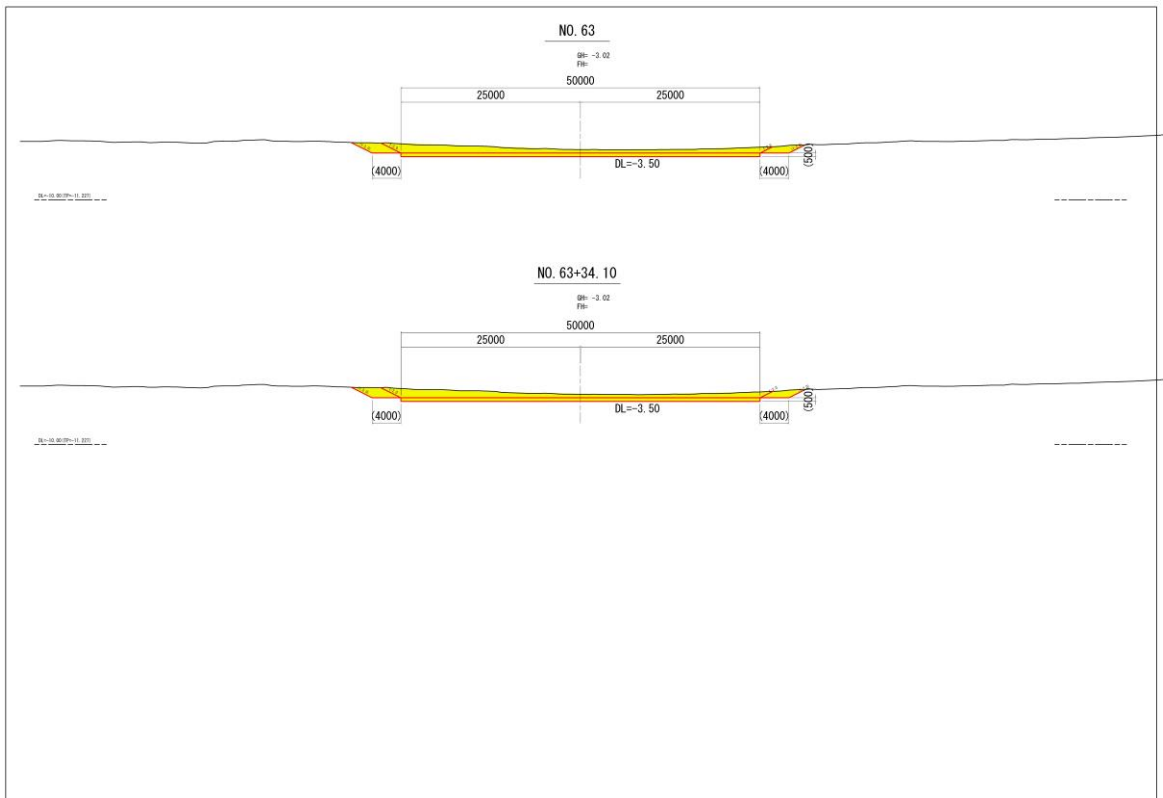
※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(18) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(19) 浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む(黄色：海洋投入浚渫範囲)

図 2.4(20) 浚渫計画断面図

表 2.3 必要浚渫量（神社泊地浚渫）

DL=-2.0m

神社泊地浚渫土量	測点	距離(m)	浚渫		
			断面積(m <sup>2</sup> )	みなし平均断面積(m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )
	+5.0	—	90.9	45.45	—
	+10.0	5.00	64.5	77.70	388.5
	+15.0	5.00	57.8	61.15	305.7
	+20.0	5.00	47.9	52.85	264.2
	合計	15.00	958.4		
					≒ 1,000

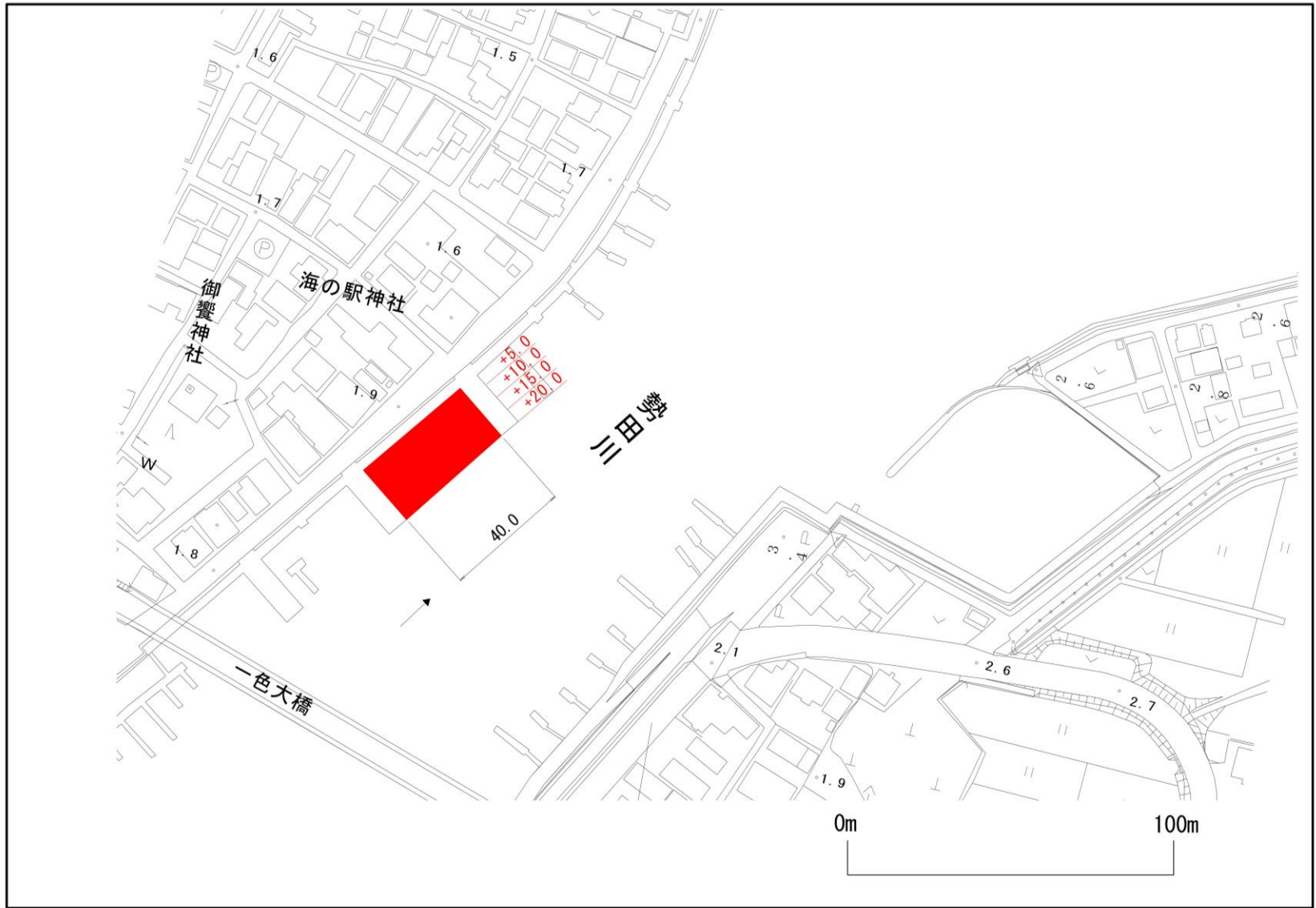
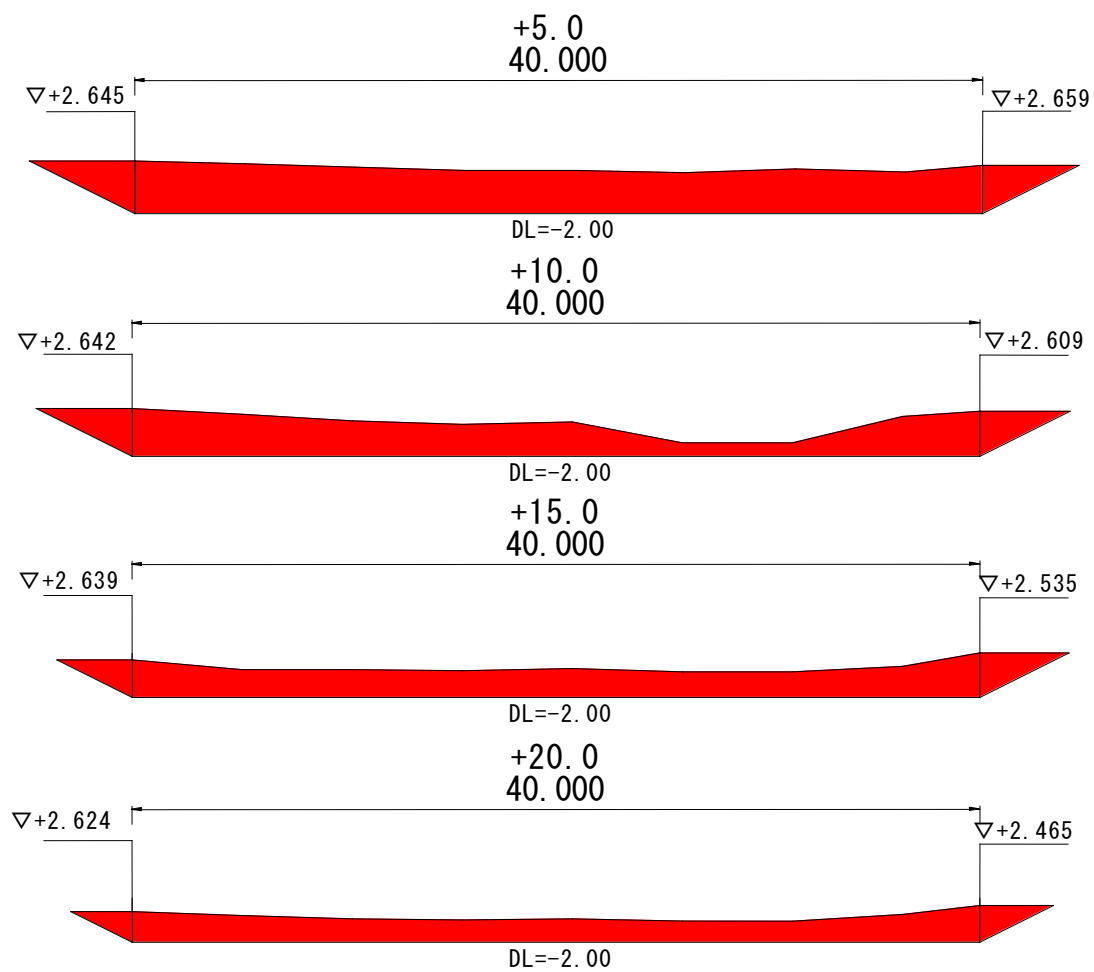


図 2.5 神社泊地浚渫計画平面図





※港内側から港外側を望む(赤色：新たな海洋投入浚渫範囲)

図 2.6 神社泊地浚渫計画断面図

表 2.4 必要浚渫量（今一色仮航路浚渫）

区分	測点	距離 (m)	浚渫		
			断面積 (m <sup>2</sup> )	みなし平均 断面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
浚渫 1	No. 0	-	19.3	-	-
	+50	50.00	14.3	16.80	840.0
	+100	50.00	23.1	18.70	935.0
	+150	50.00	19.1	21.10	1055.0
	+181.5	31.50	67.9	43.50	1370.3
	+200.7	19.20	49.2	58.55	1124.2
	+220	19.30	0.0	24.60	474.8
	小計	220.00	5,799.2		
区分	測点	距離 (m)	浚渫		
			断面積 (m <sup>2</sup> )	みなし平均 断面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
浚渫 2	No. 0	-	0.0	-	-
	+53	53.00	27.9	13.95	739.3
	+53	-	29.4	-	-
	+100	47.00	29.4	29.40	1381.8
	+121	21.00	26.8	28.10	590.1
	+151	30.00	0.0	13.40	402.0
	小計	151.00	3,113.2		
合計	8,912.4				
					≒9,000

今一色地区  
浚渫土量

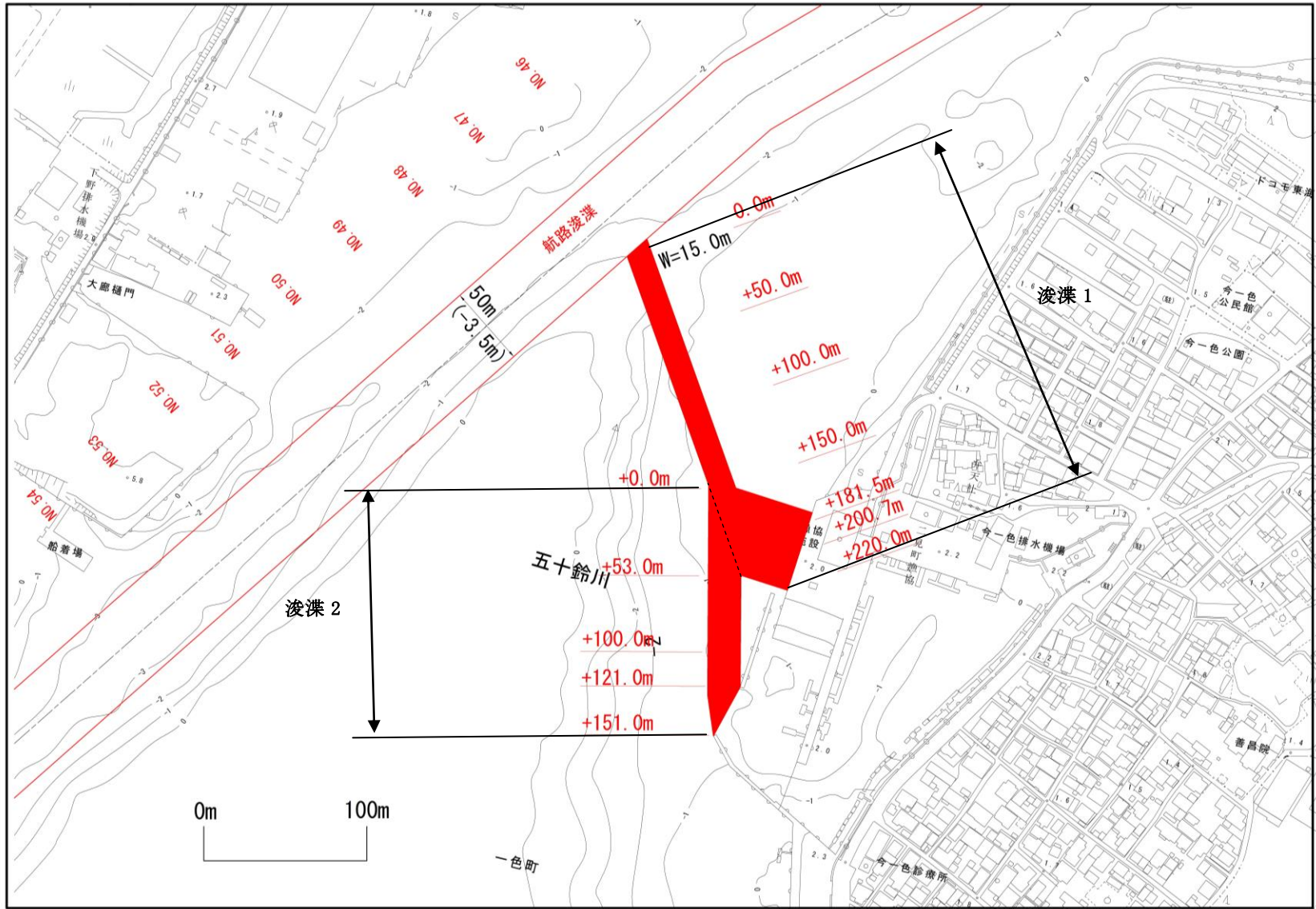
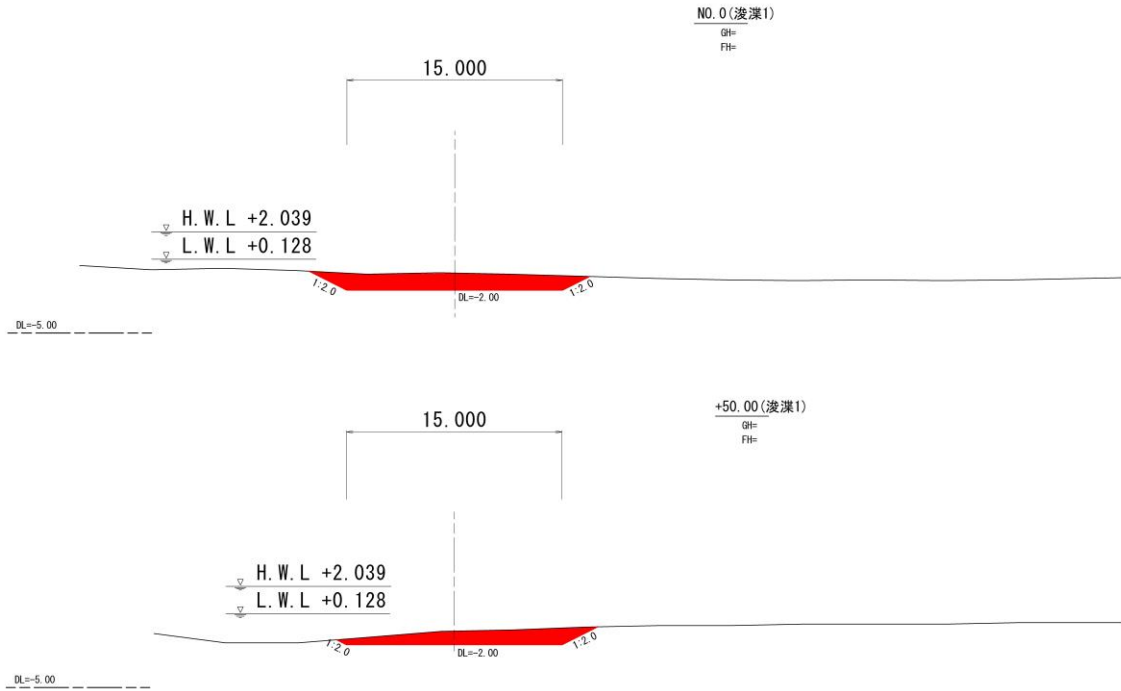


图 2.7 今一色仮航路浚渫計画平面図



※港内側から港外側を望む(赤色：新たな海洋投入浚渫範囲)  
 図 2.8(1) 今一色仮航路浚渫計画断面図

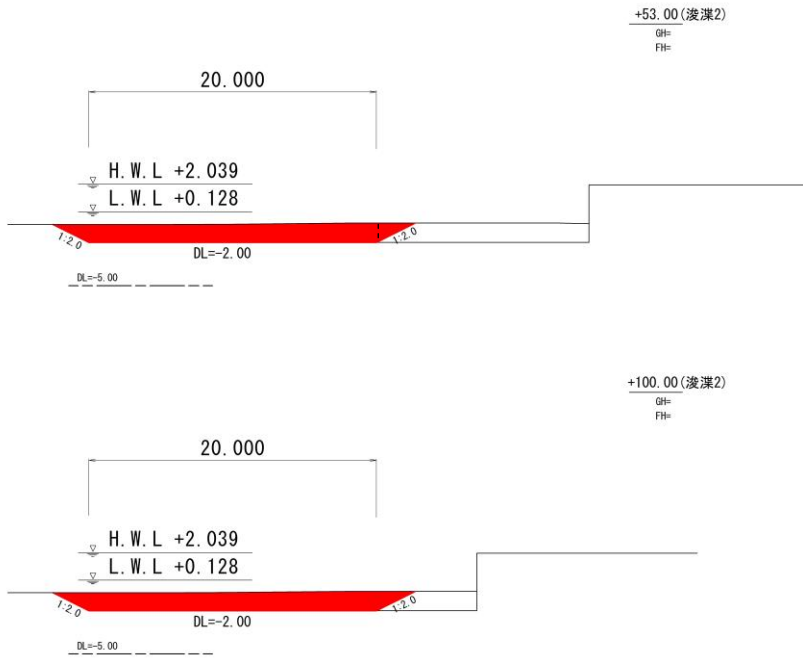


※港内側から港外側を望む(赤色：新たな海洋投入浚渫範囲)  
 図 2.8(2) 今一色仮航路浚渫計画断面図



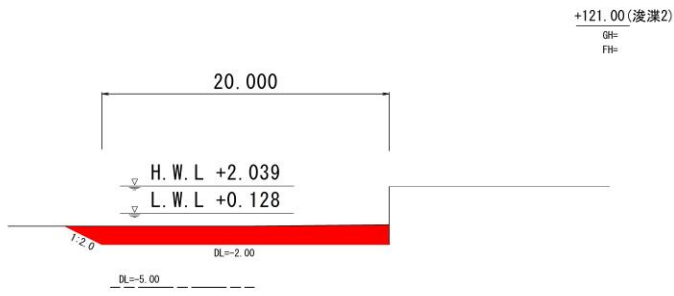
※港内側から港外側を望む(赤色：新たな海洋投入浚渫範囲)

図 2.8(3) 今一色仮航路浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む(赤色：新たな海洋投入浚渫範囲)

図 2.8(4) 今一色仮航路浚渫計画断面図



※港内側から港外側を望む(赤色：新たな海洋投入浚渫範囲)

図 2.8 (5) 今一色仮航路浚渫計画断面図

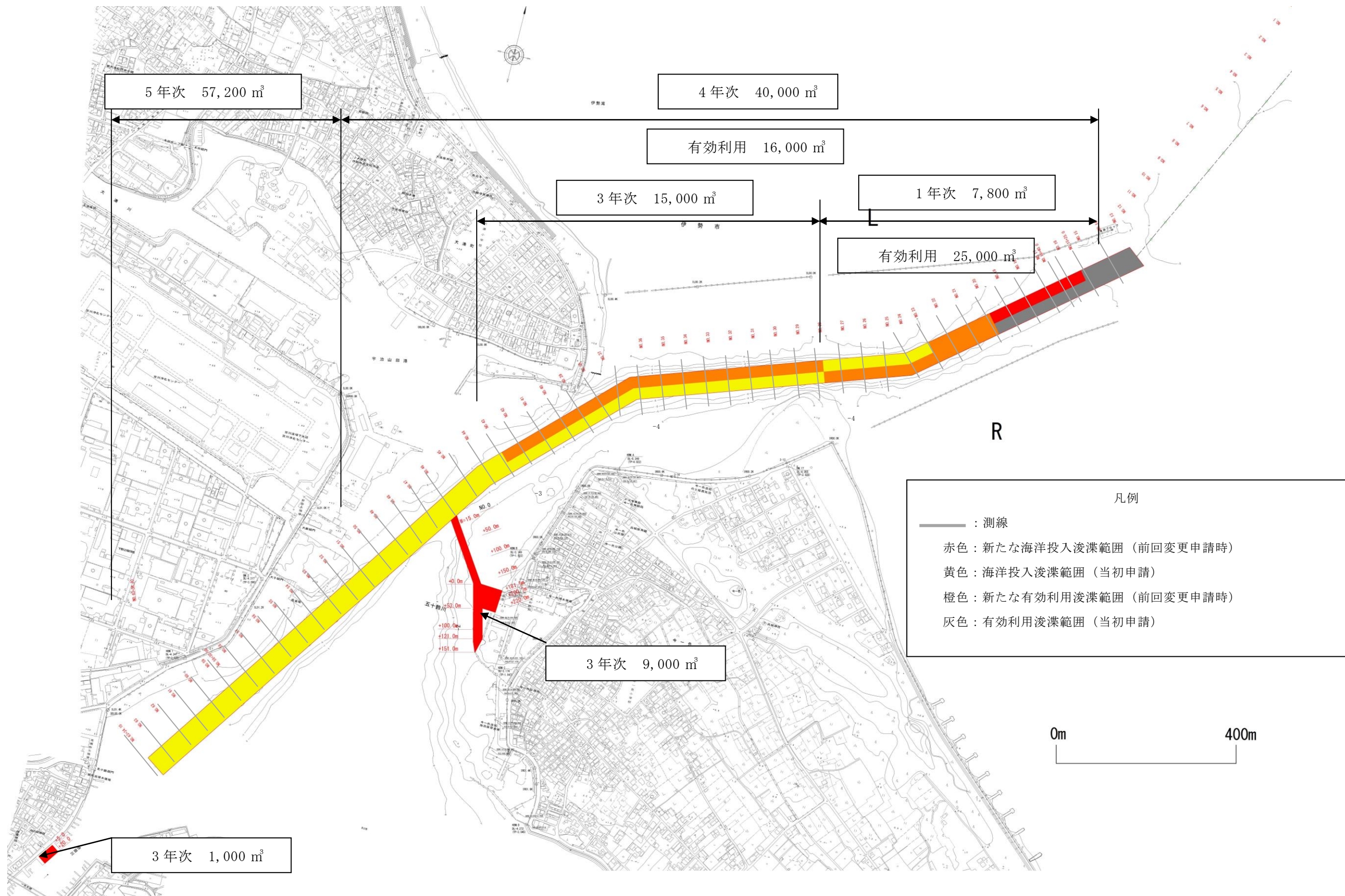


図 2.9 浚渫計画平面図（今回変更申請時）

表 2.5 必要浚渫量【航路浚渫】（今回変更申請時）

測点	距離(m)	断面積(m <sup>2</sup> )		有効利用		海洋投入		各年次 浚渫土量
		左側	右側	みなし平 均断面積 (m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	みなし平 均断面積 (m <sup>2</sup> )	体積(m <sup>3</sup> )	
No. 13	-	79.0	0.0	-	-	-	-	1年次 海洋投入 7,800m <sup>3</sup> 有効利用 25,000m <sup>3</sup>
No. 14	50.00	86.2	0.0	82.60	4130.0	0.00	0.0	
No. 15	50.00	91.6	0.0	88.90	4445.0	0.00	0.0	
No. 15+25.0	25.00	91.6	0.0	91.60	2290.0	0.00	0.0	
No. 15+25.0	0.00	38.9	52.7	26.35	0.0	65.25	0.0	
No. 16	25.00	40.6	53.2	52.95	1323.8	39.75	993.8	
No. 17	50.00	40.3	46.5	49.85	2492.5	40.45	2022.5	
No. 18	50.00	41.0	40.1	43.30	2165.0	40.65	2032.5	
No. 19	50.00	43.2	32.6	36.35	1817.5	42.10	2105.0	
No. 20	50.00	46.8	26.5	29.55	1477.5	45.00	2250.0	
No. 20	0.00	73.3	0.0	60.05	0.0		0.0	
No. 21	50.00	70.1	0.0	71.70	3585.0		0.0	
No. 22	50.00	69.1	0.0	69.60	3480.0		0.0	
No. 23	50.00	77.4	0.0	73.25	3662.5		0.0	
No. 23	0.00	14.2	63.2	31.60	0.0	45.80	0.0	
No. 24	50.00	43.9	13.8	38.50	1925.0	29.05	1452.5	
No. 25	50.00	45.8	11.5	12.65	632.5	44.85	2242.5	
No. 26	50.00	38.5	6.3	8.90	445.0	42.15	2107.5	
No. 27	50.00	27.8	3.7	5.00	250.0	33.15	1657.5	
No. 28	50.00	8.5	5.9	4.80	240.0	18.15	907.5	
No. 28	0.00	8.5	5.9	8.50	0.0	5.90	0.0	
No. 29	50.00	1.1	30.7	4.80	240.0	18.30	915.0	
No. 30	50.00	0.5	29.4	0.80	40.0	30.05	1502.5	
No. 31	50.00	4.5	18.7	2.50	125.0	24.05	1202.5	
No. 32	50.00	1.2	17.8	2.85	142.5	18.25	912.5	
No. 33	50.00	7.6	17.0	4.40	220.0	17.40	870.0	
No. 34	50.00	3.9	16.9	5.75	287.5	16.95	847.5	
No. 35	50.00	0.9	10.7	2.40	120.0	13.80	690.0	
No. 36	50.00	2.3	6.1	1.60	80.0	8.40	420.0	
No. 37	50.00	2.5	6.4	2.40	120.0	6.25	312.5	
No. 38	50.00	0.0	13.7	1.25	62.5	10.05	502.5	
No. 39	50.00	5.2	27.8	2.60	130.0	20.75	1037.5	
No. 40	50.00	19.4	40.5	12.30	615.0	34.15	1707.5	
No. 41	50.00	19.8	43.3	19.60	980.0	41.90	2095.0	
No. 42	50.00	30.3	40.9	25.05	1252.5	42.10	2105.0	
No. 43	50.00	42.3	47.2	36.30	1815.0	44.05	2202.5	
No. 43	0.00	89.5	0.0		0.0	65.90	0.0	
No. 44	50.00	96.2	0.0		0.0	92.85	4642.5	
No. 45	50.00	94.4	0.0		0.0	95.30	4765.0	
No. 46	50.00	93.6	0.0		0.0	94.00	4700.0	
No. 47	50.00	136.7	0.0		0.0	115.15	5757.5	
No. 48	50.00	143.3	0.0		0.0	140.00	7000.0	
No. 49	50.00	142.7	0.0		0.0	143.00	7150.0	
No. 50	50.00	114.7	0.0		0.0	128.70	6435.0	
No. 51	50.00	72.5	0.0		0.0	93.60	4680.0	
No. 52	50.00	54.0	0.0		0.0	63.25	3162.5	
No. 53	50.00	39.2	0.0		0.0	46.60	2330.0	
No. 54	50.00	44.3	0.0		0.0	41.75	2087.5	
No. 55	50.00	48.4	0.0		0.0	46.35	2317.5	
No. 56	50.00	66.7	0.0		0.0	57.55	2877.5	
No. 57	50.00	67.9	0.0		0.0	67.30	3365.0	
No. 58	50.00	68.8	0.0		0.0	68.35	3417.5	
No. 59	50.00	72.7	0.0		0.0	70.75	3537.5	
No. 60	50.00	72.3	0.0		0.0	72.50	3625.0	
No. 61	50.00	72.3	0.0		0.0	72.30	3615.0	
No. 62	50.00	72.3	0.0		0.0	72.30	3615.0	
No. 63	50.00	72.3	0.0		0.0	72.30	3615.0	
No. 63+34.10	34.10	72.3	0.0		0.0	72.30	2465.4	
合計	2534.10				41,000		120,000	3年次 海洋投入 15,000m <sup>3</sup>  4年次 海洋投入 40,000m <sup>3</sup> 有効利用 16,000m <sup>3</sup>  5年次 海洋投入 57,200m <sup>3</sup>

※合計値は数字を丸めて記載してある。



## 2.2. 海洋投入処分量の削減について

### (1) 有効利用計画

有効利用として、浚渫場所近海である今一色沖にアサリの漁場整備のために覆砂を行う「伊勢市アサリ漁場整備計画」がある。当初申請では、本浚渫事業で発生する浚渫土砂の一部を有効利用する予定であったが、前回変更申請時に新たに追加する箇所は、漁業関係者への聞き取りにより生息するアサリの稚貝が少なく適さないことから、海洋投入処分するものとし変更を行った。

また、当初海洋投入浚渫範囲について、浚渫土の有効利用を図るため、一部区間の浚渫土は漁業関係者への聞き取りにより、生息するアサリの稚貝が多く良好な漁場であることが判明したため、伊勢市アサリ漁場整備計画への有効利用に適したものであることから、有効利用浚渫範囲に変更するものである。(前回変更申請時)

今回の変更申請では有効利用する浚渫土砂の量に変更は無いが、今後も関係者と調整を図り、可能な限り有効利用を推進していく。

### (2) その他の有効利用及び海洋投入処分以外の処分方法の検討

上記計画以外の上記有効利用事業の可能性について、表 2.5 に示すとおり、水産部局をはじめとする他部署や、関連市町村に再度、照会したが、受け入れ可能な事業は皆無であった。

表 2.5 他部署・他機関における有効利用に関する照会結果

照会先	三重県庁	農林水産部水産資源課 農林水産部水産基盤整備課 環境生活部 大気・水環境課 県土整備部下水道課 地域連携部水資源・地域プロジェクト課
	他港湾管理者	愛知県港湾課 静岡県港湾企画課 和歌山県県土整備部港湾整備課 蒲郡市土木港湾課 田原市 南知多町建設経済部建設課 焼津市水産経済部 四日市港管理組合 名古屋港管理組合
結果		受け入れ可能事業なし

※ 照会時期：平成 29 年 1 月（当初申請照会時期：平成 25 年 7 月）

また、浚渫土砂を最終処分場まで運搬するためには、浚渫土砂の採取区域近辺で一時的仮置き（水切り）が必要となるが、土砂を一時的仮置き（水切り）できるような敷地は港湾区域周辺では存在せず、現状で新たに確保することは困難であるため、最終処分場への搬出は困難である。

さらに、今後、埋立等土砂の有効利用先が新たに発生することを待つことについても、浚渫土砂を一時的仮置きできるストックヤードを確保できないことから、(1)項以外の有効利

用は困難である。

よって、当該浚渫事業で発生する浚渫土砂の有効利用及び海洋投入処分以外の処分方法については、上記した「伊勢市アサリ漁場整備計画」以外では困難である。

### 2.3. 海洋投入処分量の見通しなど

宇治山田港における港湾整備に伴う浚渫事業は、港湾のもつ、物流機能・観光機能・漁業機能を維持・向上するための事業であり、浚渫規模は現状地形と港湾施設の維持管理上定める基準により計画したもので、浚渫土砂量（合計 171,000m<sup>3</sup>）は必要な最低土量である。

これまで三重県は、港湾建設工事や維持浚渫工事等に伴い発生する浚渫土砂については、適切な有効利用を行っており、本事業においても「伊勢市アサリ漁場整備計画」として、1年次及び4年次に浚渫する土砂の一部（41,000m<sup>3</sup>）を有効利用する計画であるが、当有効利用以外では、三重県及び周辺地域で浚渫土砂の受け入れ可能な事業・処分先がなく、有効利用が見込めない必要最低土量の浚渫土砂を海洋投入処分するように計画したものである。

今後も干潟造成や養浜・埋立材料への有効利用を検討し、浚渫土砂の海洋投入処分量の一層の削減を図っていくとともに、有効利用が可能である場合は、これらを優先して実施する。

以上より、浚渫土砂の有効利用、発生の抑制を最大限行っても、前回変更申請時に許可された浚渫土砂 130,000m<sup>3</sup>については海洋投入処分をせざるを得ない土砂量である。表 2.6 に、各年次の浚渫土量、有効利用量、海洋投入処分量を示す。

表 2.6 各年次の海洋投入処分量の見通し

浚渫年次	浚渫土量(m <sup>3</sup> )			有効利用量(m <sup>3</sup> )						海洋投入量(m <sup>3</sup> )					
	当初	前回変更	今回変更	当初	前回変更	今回変更	当初	前回変更	今回変更	当初	前回変更	今回変更	当初	前回変更	今回変更
1年次	72,000	32,800	32,800	30,000	19%	25,000	15%	25,000	15%	42,000	26%	7,800	5%	7,800	5%
2年次	44,000	50,000	0	0	0%	0	0%	0	0%	44,000	27%	50,000	29%	0	0%
3年次	45,000	88,200	25,000	0	0%	16,000	9%	0	0%	45,000	28%	72,200	42%	25,000	15%
4年次			56,000					16,000	9%					40,000	23%
5年次			57,200											57,200	33%
合計	161,000	171,000	171,000	30,000		41,000		41,000		131,000		130,000		130,000	

※1年次、2年次の変更数量は実績数量を記載